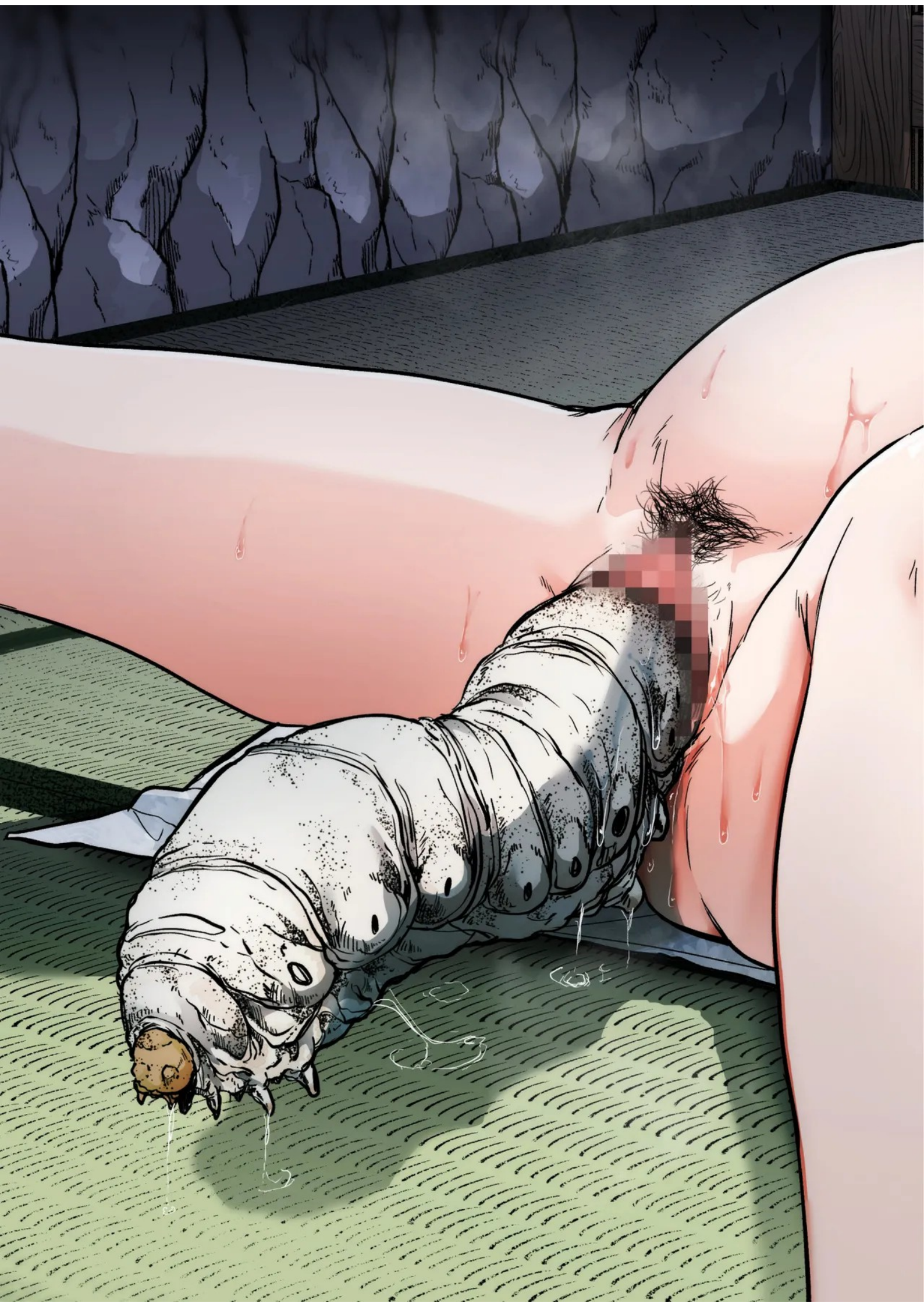








バス
附馬森
のりば

うおおっ

やっと着いた
体バツキバキだ
ひたすら緑！
空気美味い！

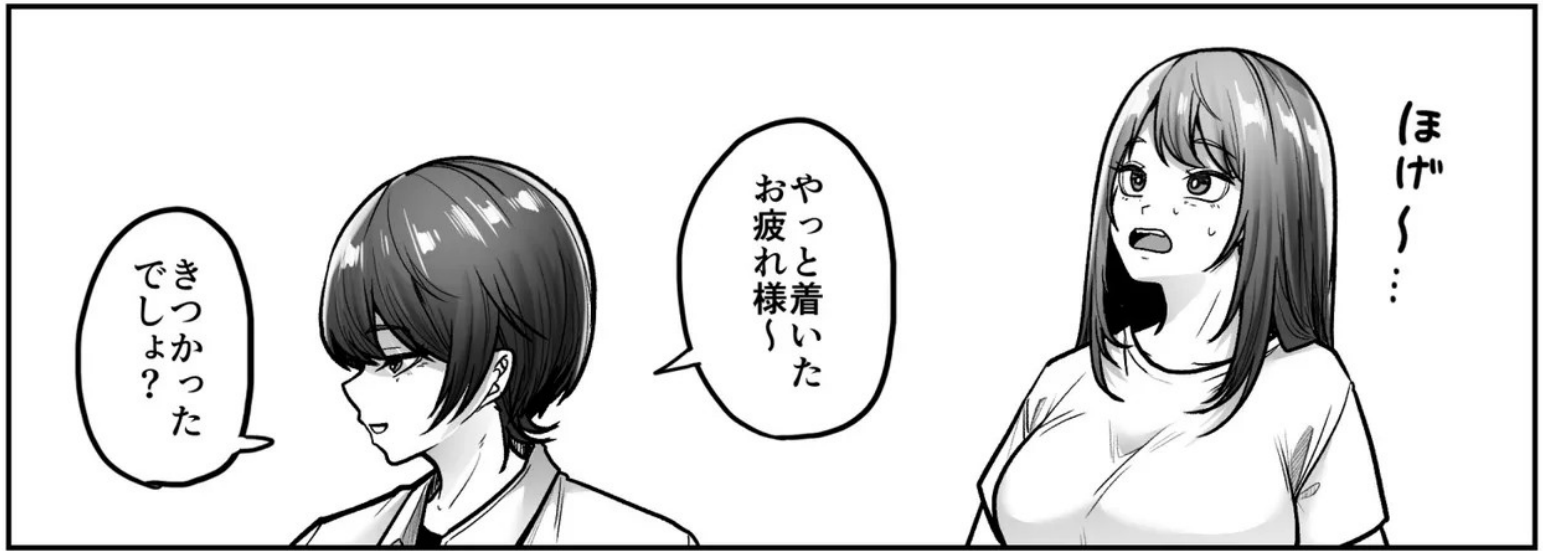
うそーん…

これから実家までは
まだまだ歩くけどね

カラ

カラ





ほけ〜…

やっと着いた
お疲れ様〜

きつかった
でしょ？



紬って…
名家のお嬢様
だったりする？
う

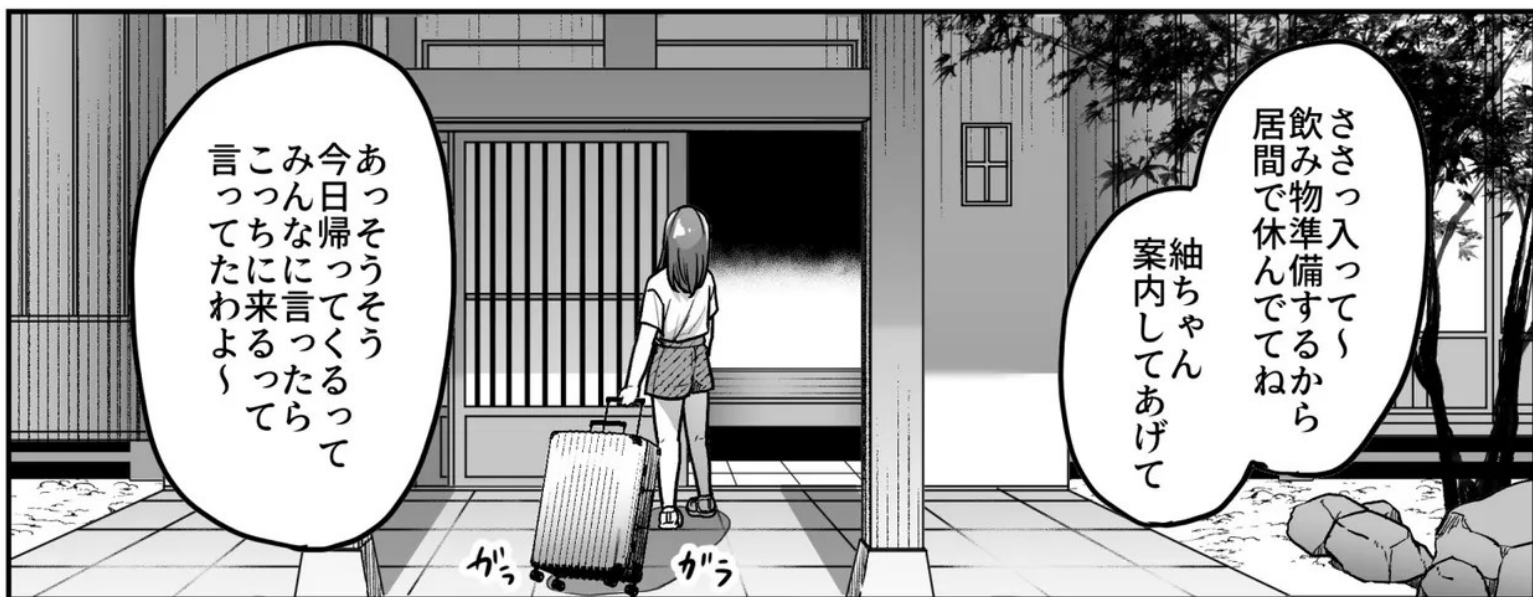
お嬢様

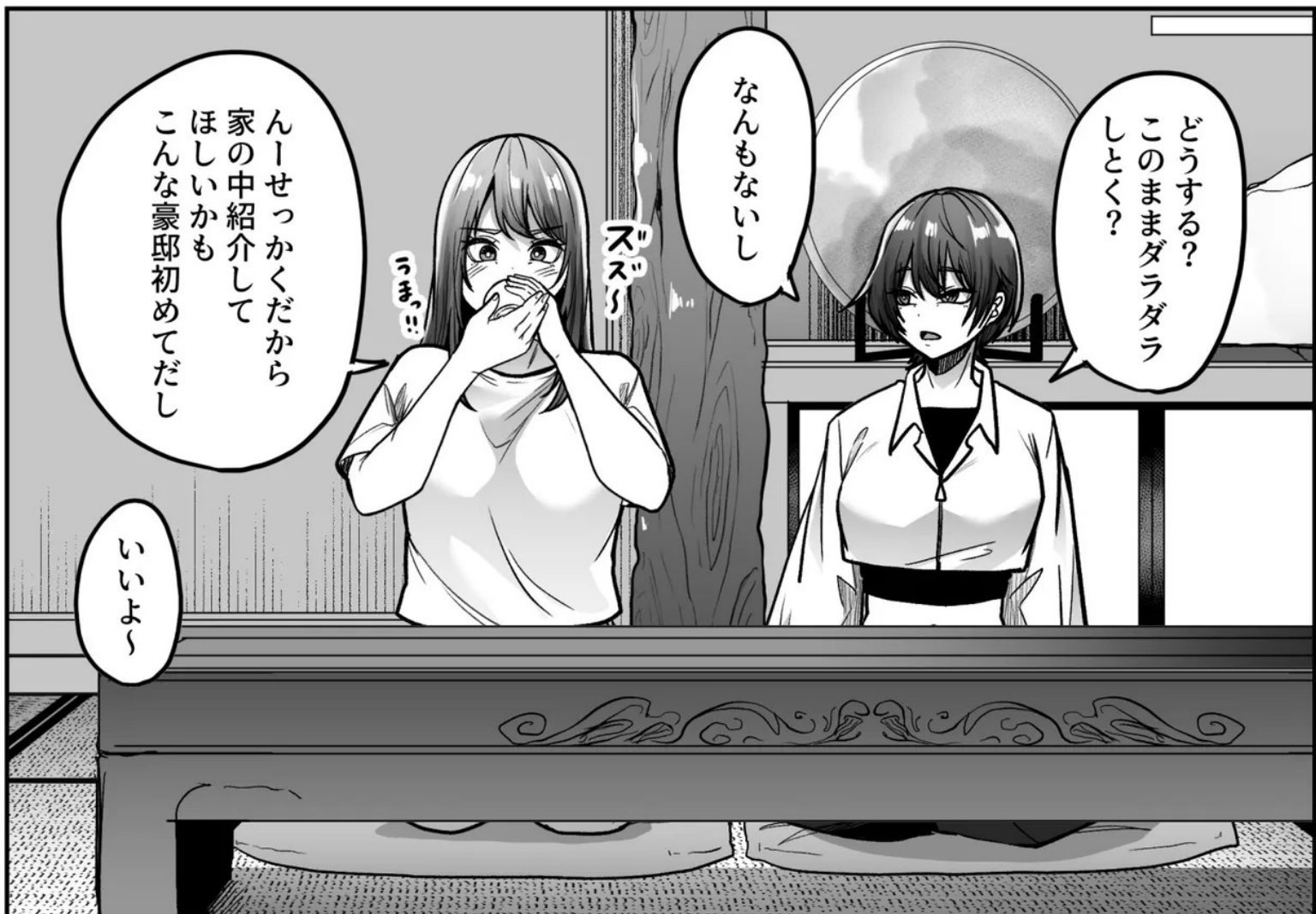
九戸

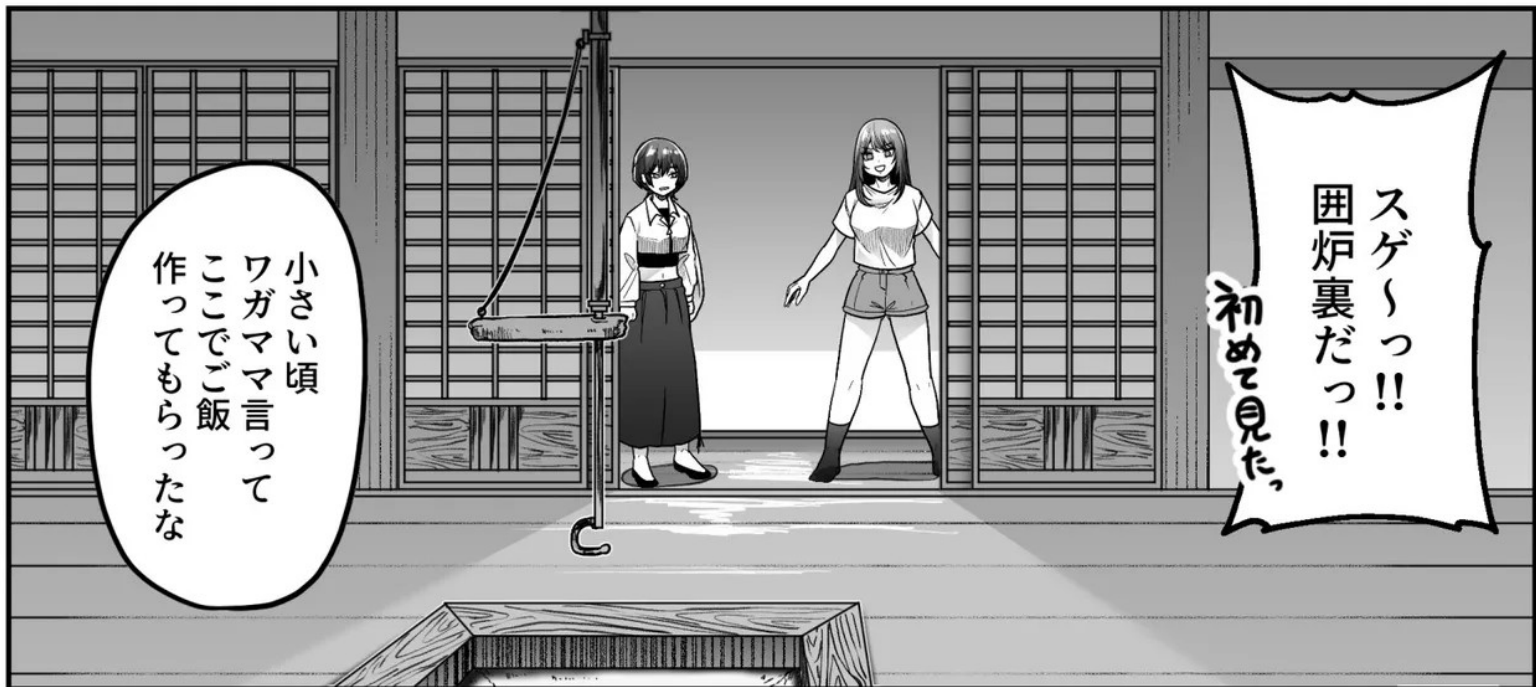
昔の名残だよ
今は普通の
家庭じゃないかな

若干しきたりとかは
残ってるけど









小さい頃
ワガママ言って
ここでご飯
作ってもらったな

スゲーっ!!
囲炉裏だっ!!

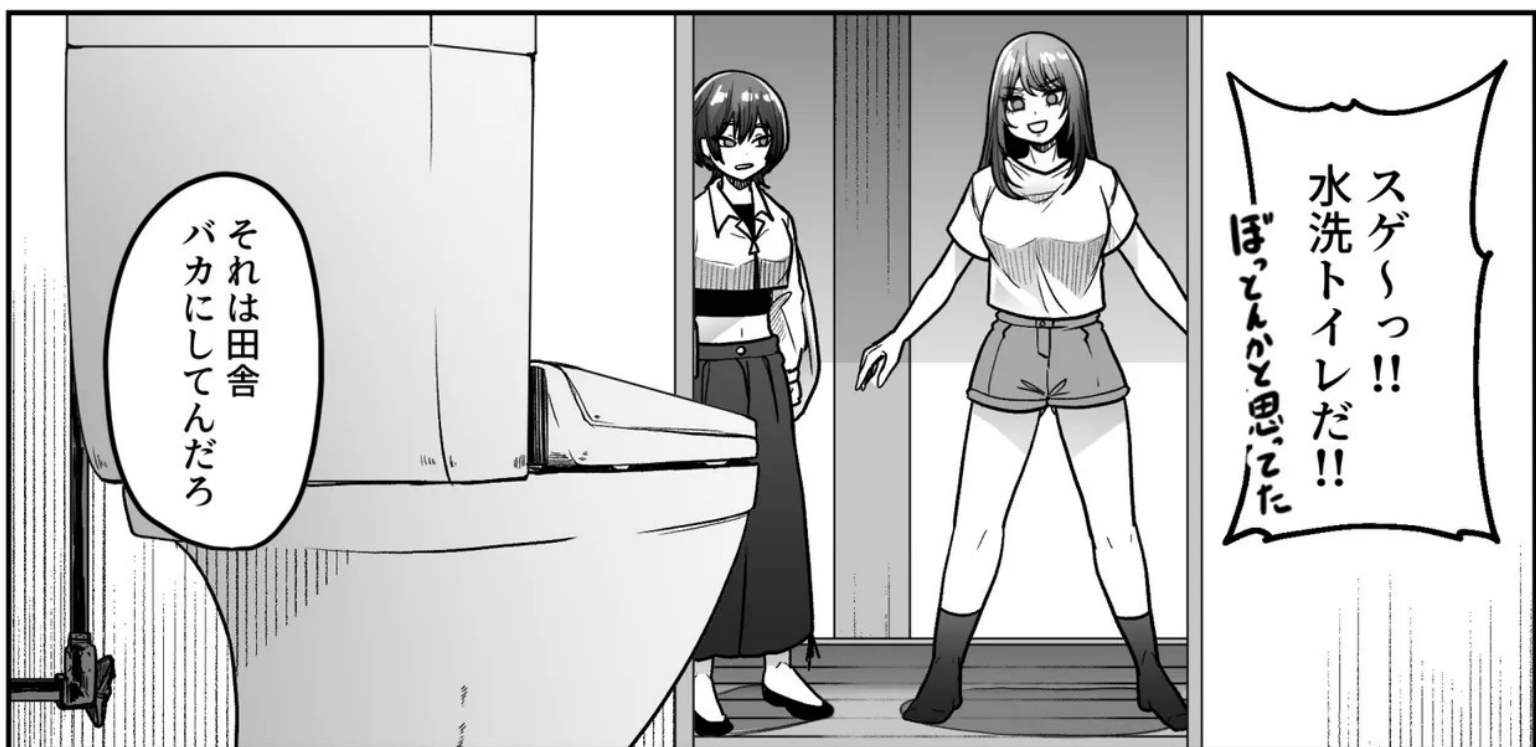
初めて見た、



鯉居るから
あとで餌あげようか

スゲーっ!!
庭に池あるっ!!

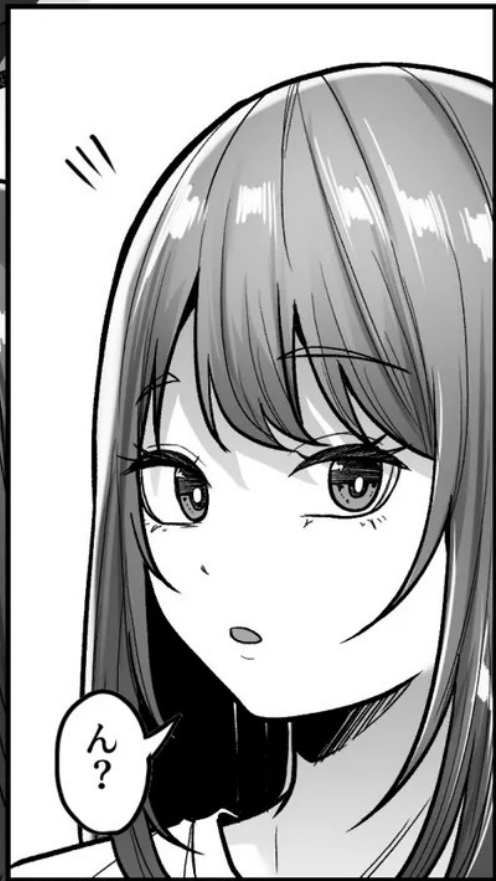
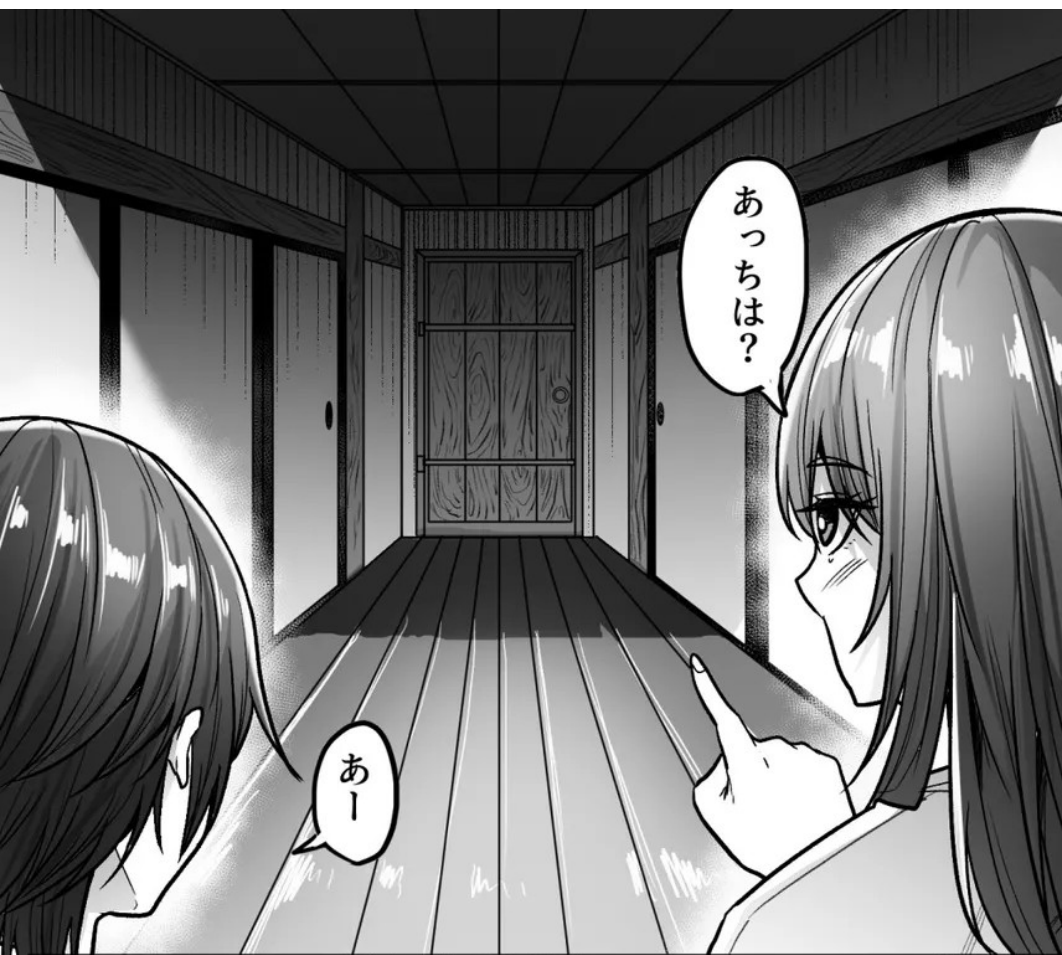
初めて見た、

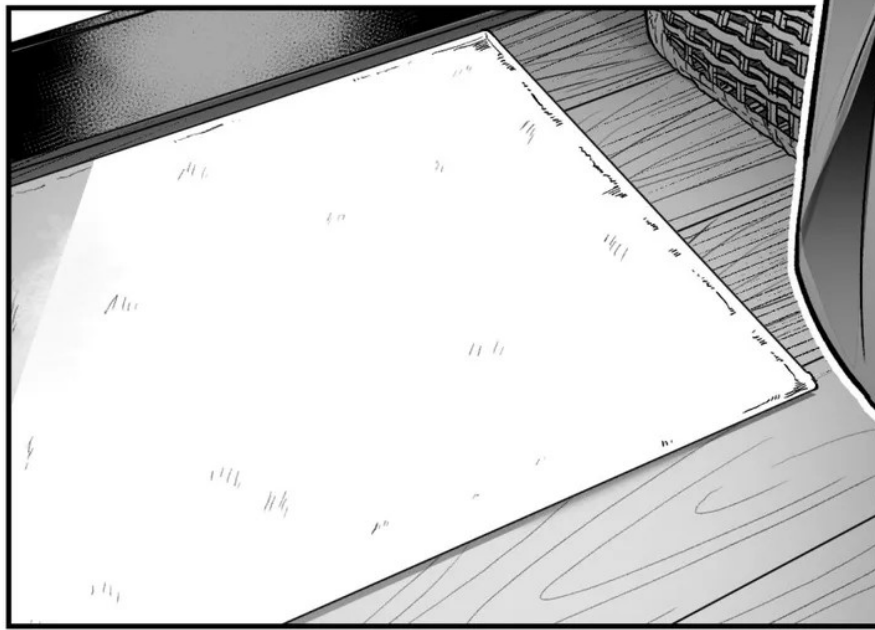
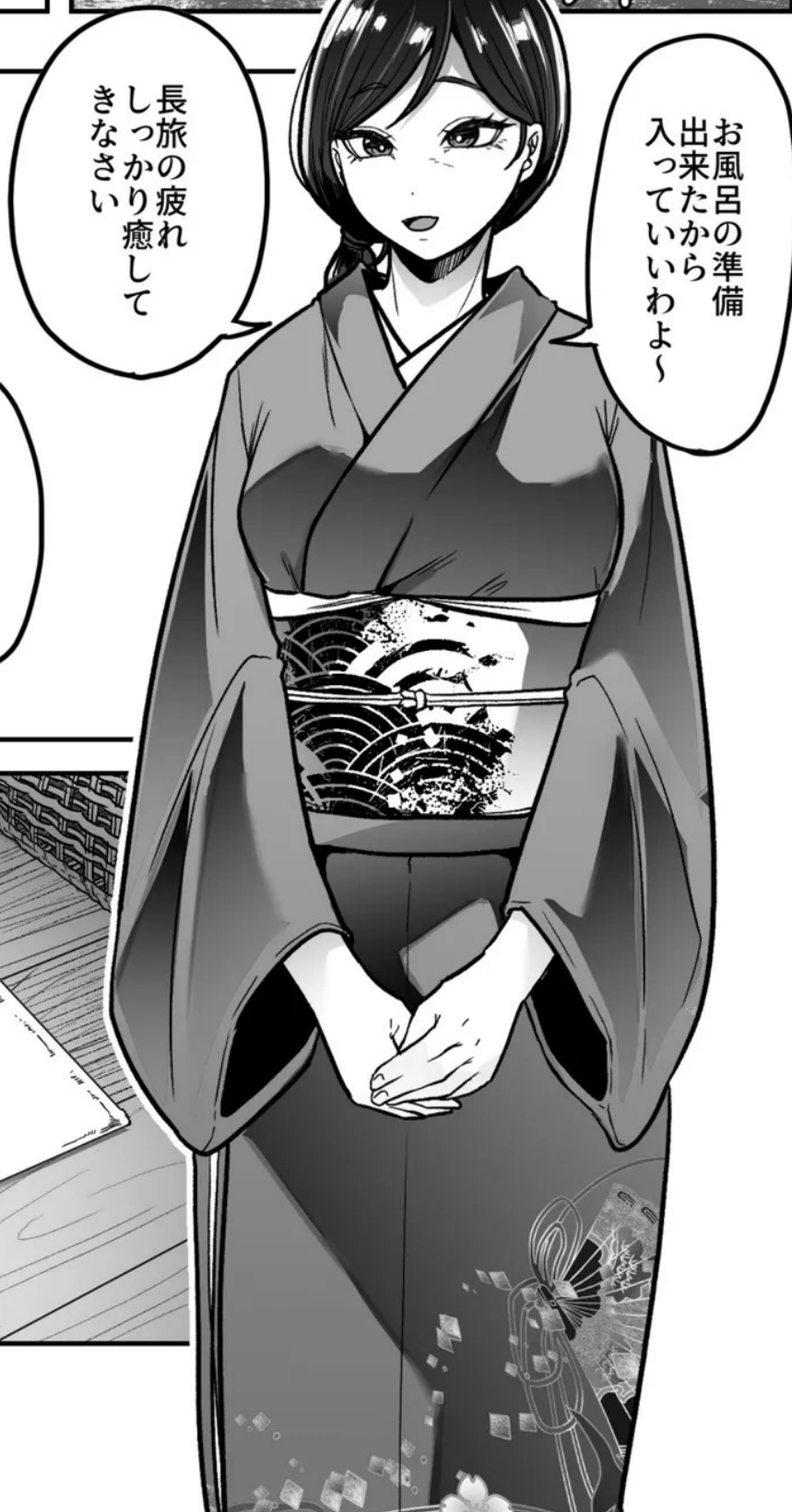
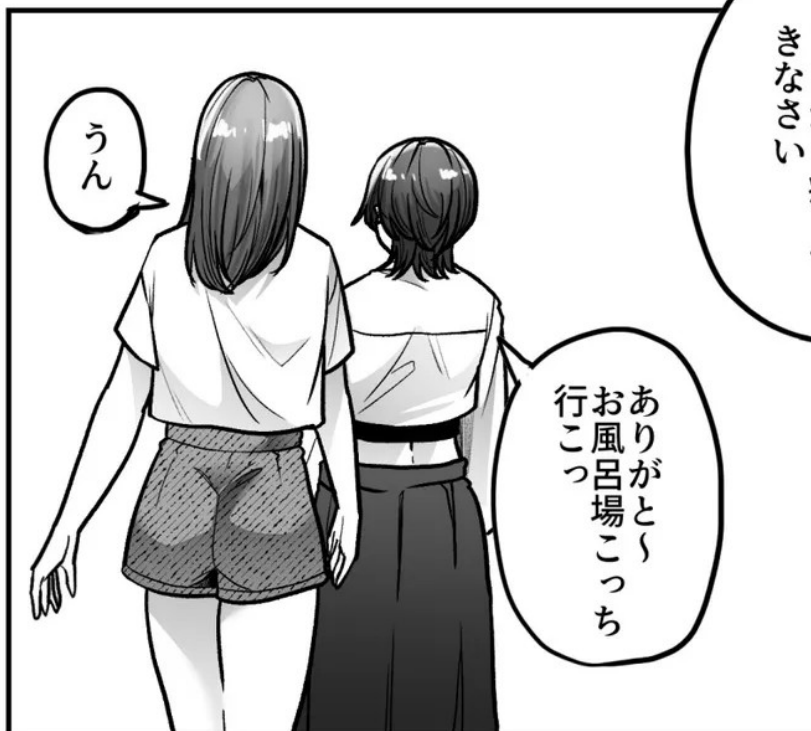
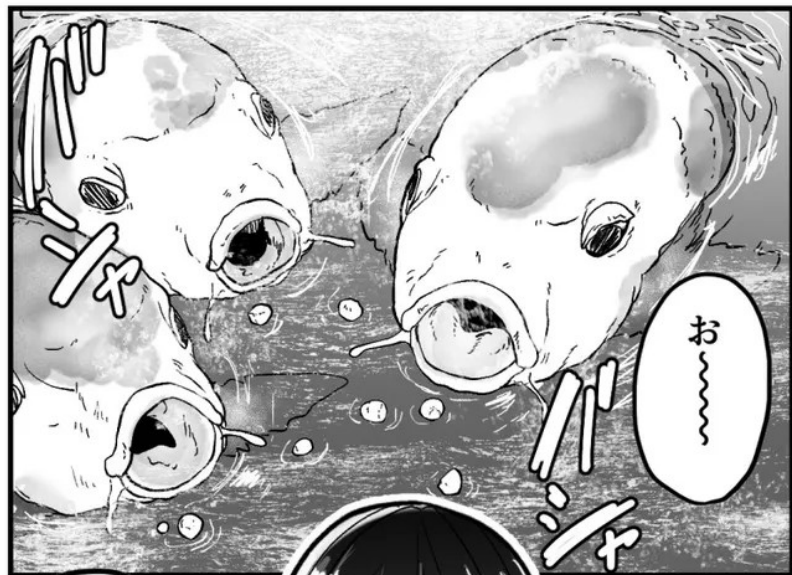


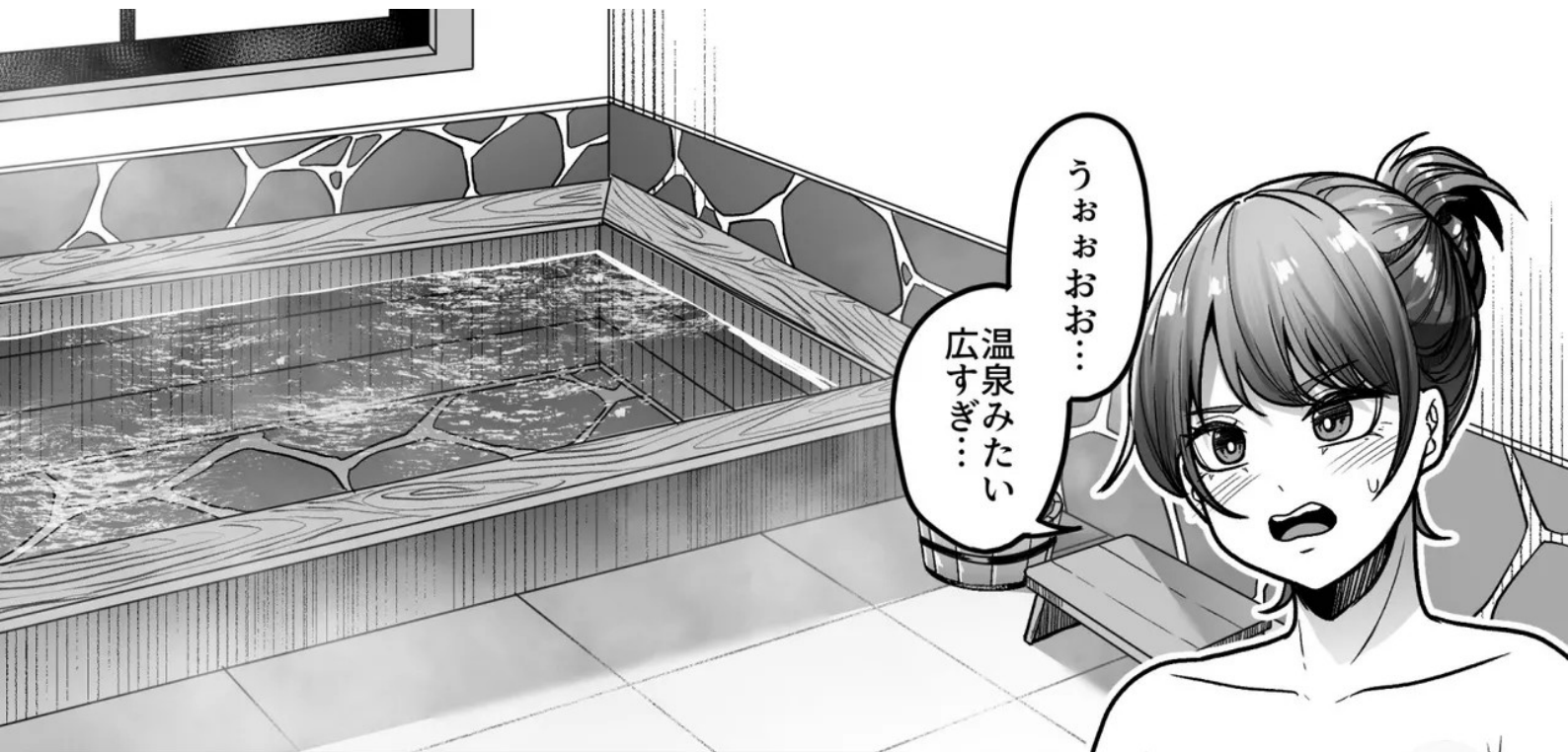
それは田舎
バカにしてんだろ

スゲーっ!!
水洗トイレだ!!

ほんとんかと思てた







温泉みたい
広すぎ…

うおおおお…



湧いてるのを
こっちまで引っ張って
温度調整してるの

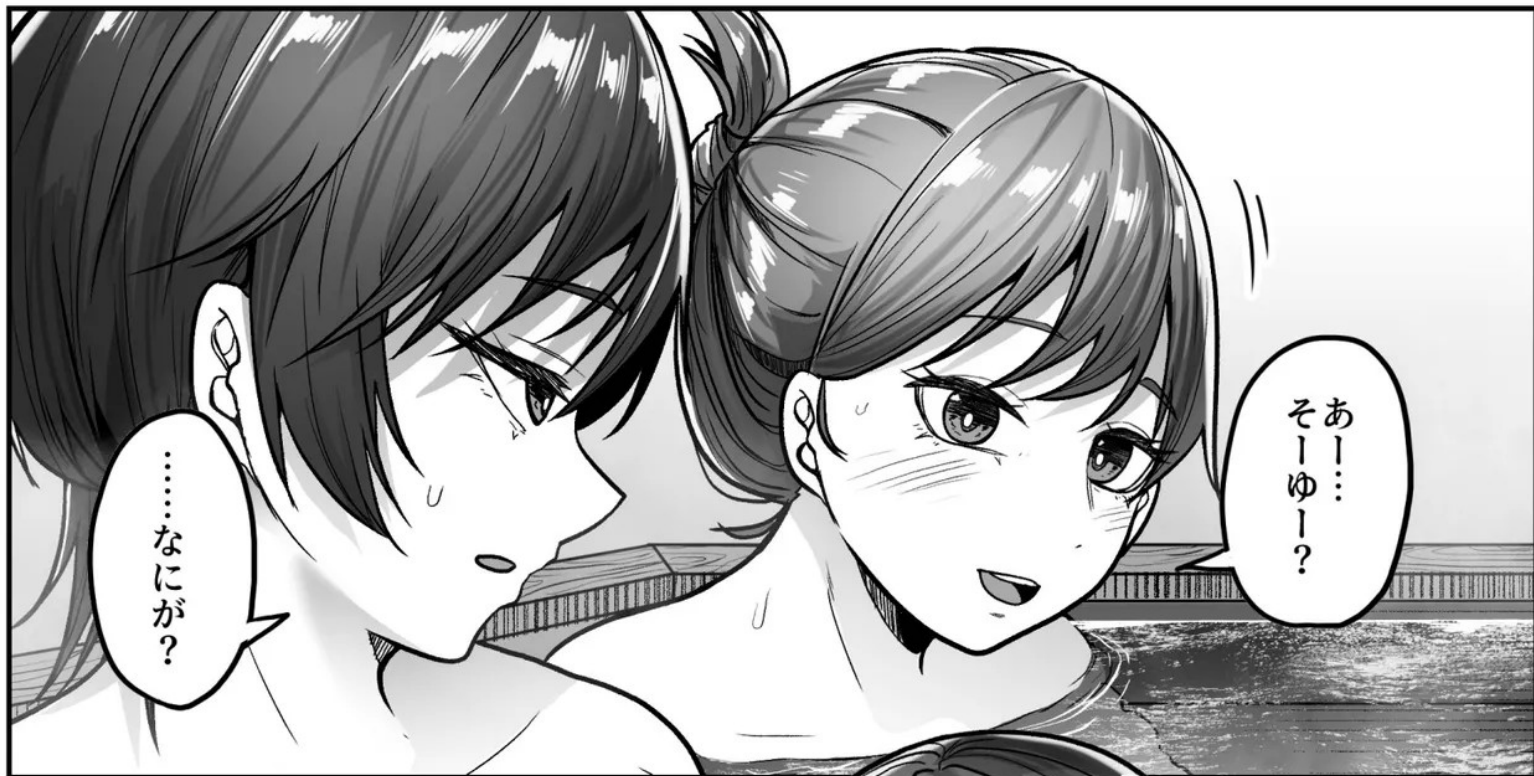
あ…ガチの
温泉なの？
やばあ…



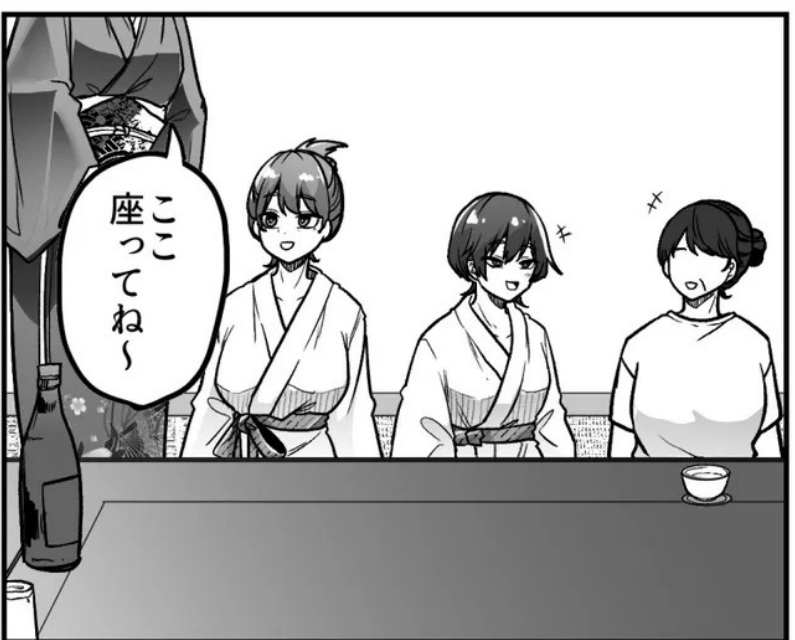
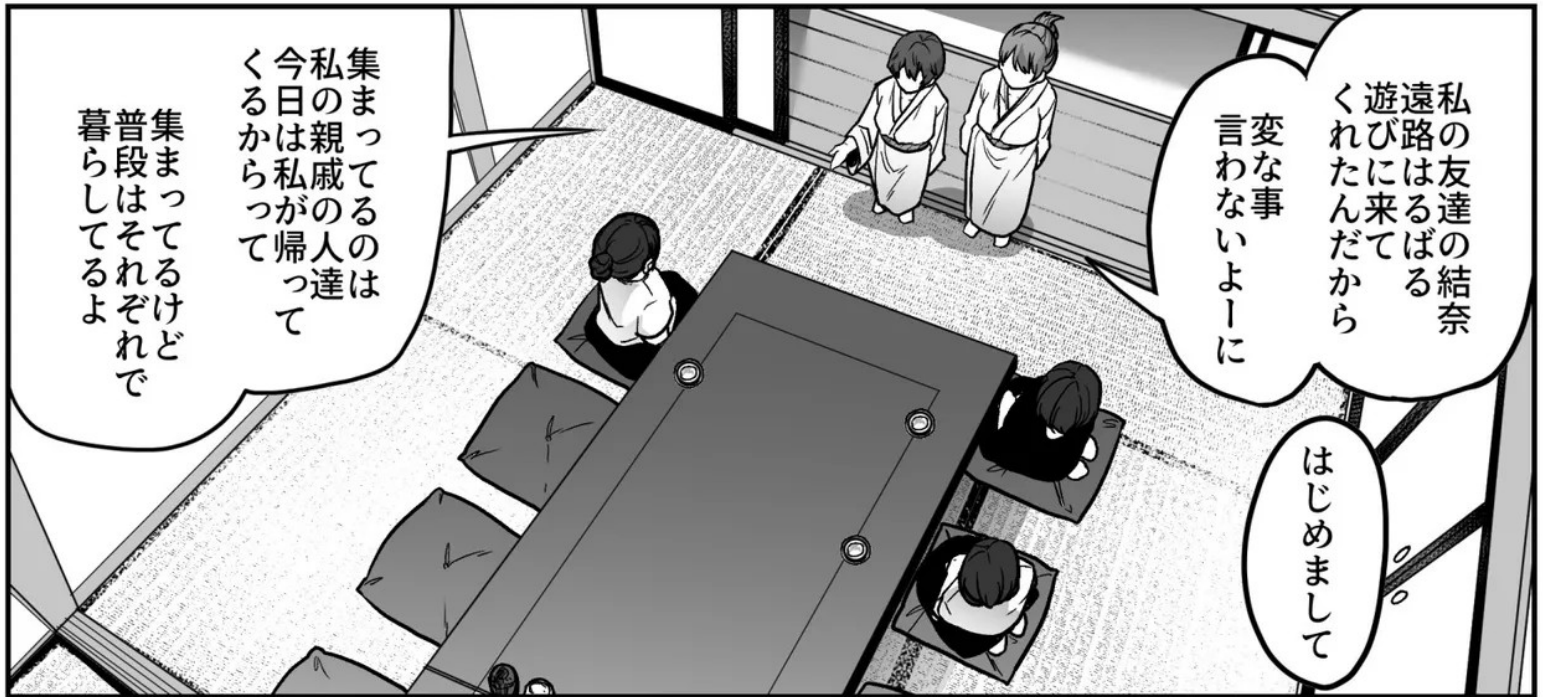
たしかに…

すん
すん













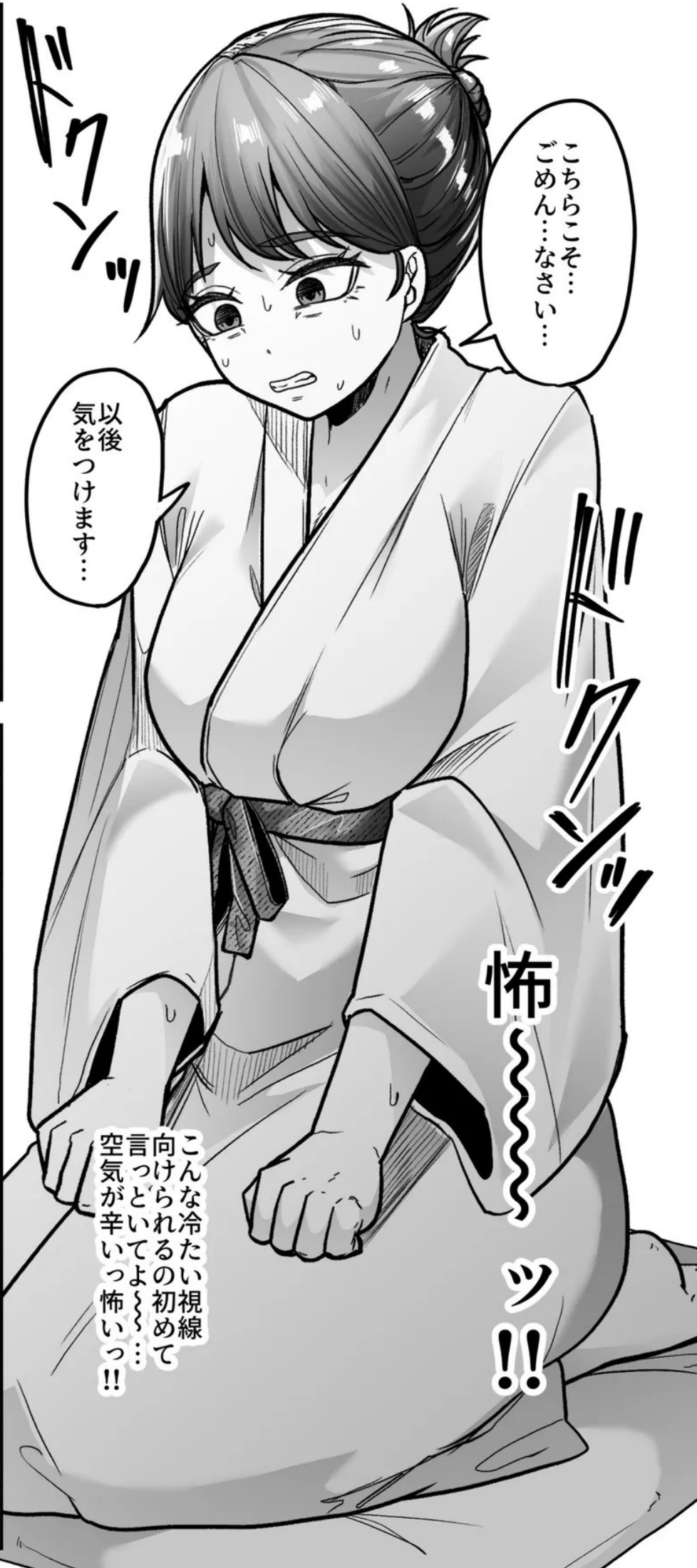
知らない事なんだから
仕方ないでしょっ
意地悪しないのっ

はいはいっ



おばちゃん料理
美味しいわよ
ささっ食べましょ
はい
グラス持ってっ

乾杯っ



こちらこそ...
ごめん...なさい...

以後
気をつけます...

怖
ッ
!!

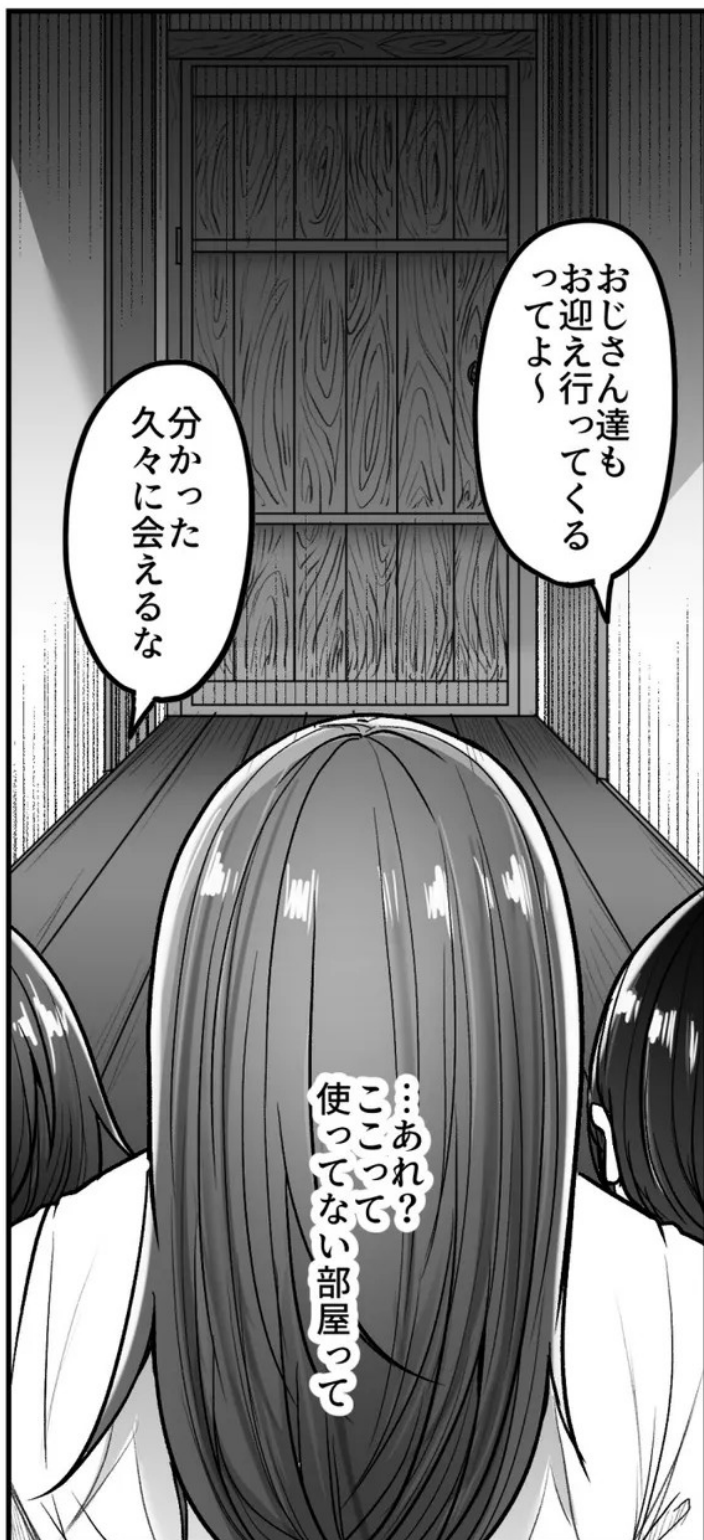
こんな冷たい視線
向けられるの初めて
言っといてよ...
空気が辛いつ怖いつ!!



結奈
寝てる？

あれ…頭の中
グワングワンする

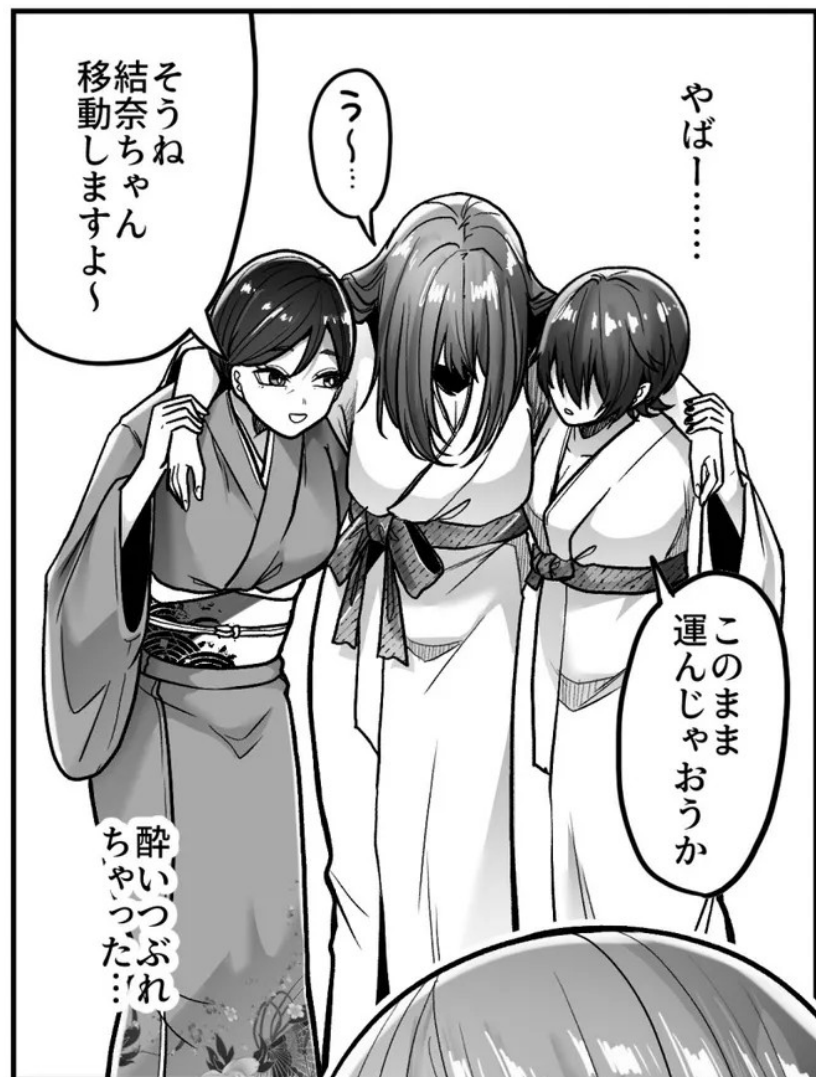
だいぶお酒
飲んでもんねえ



おじさん達も
お迎え行ってくる
つてよ

分かった
久々に会えるな

…あれ？
ここって
使っていない部屋って



やばー……

うー…

そうね
結奈ちゃん
移動しますよ

このまま
運んじゃおうか

酔いつぶれ
ちやいづた…





…地下？
部屋じゃない



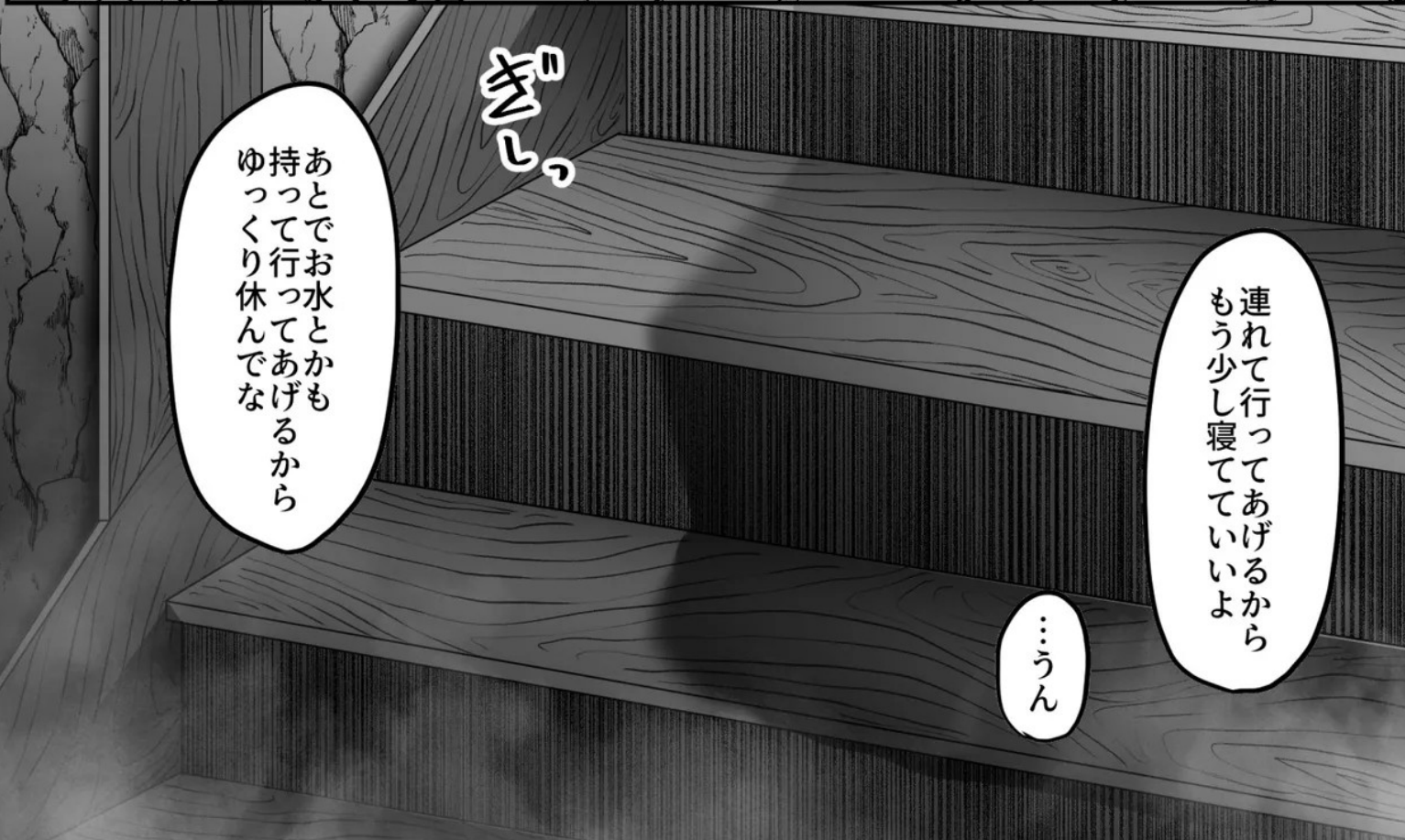
ぎい…



大丈夫よ、
横になって休める
場所に行くだけよ

つむ…ぎ？
どこ…行くの？

あら
起きちゃった

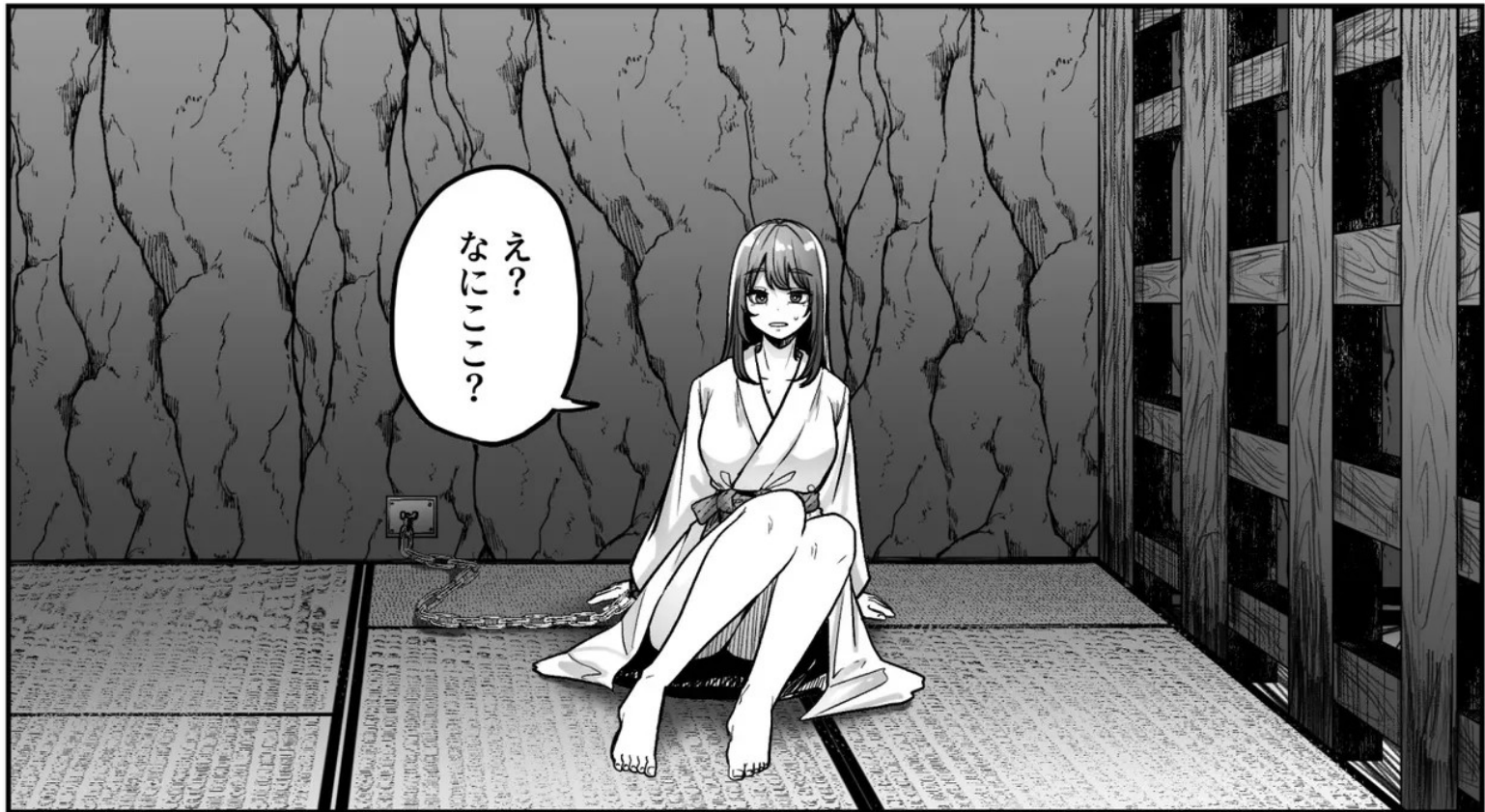


ぎし

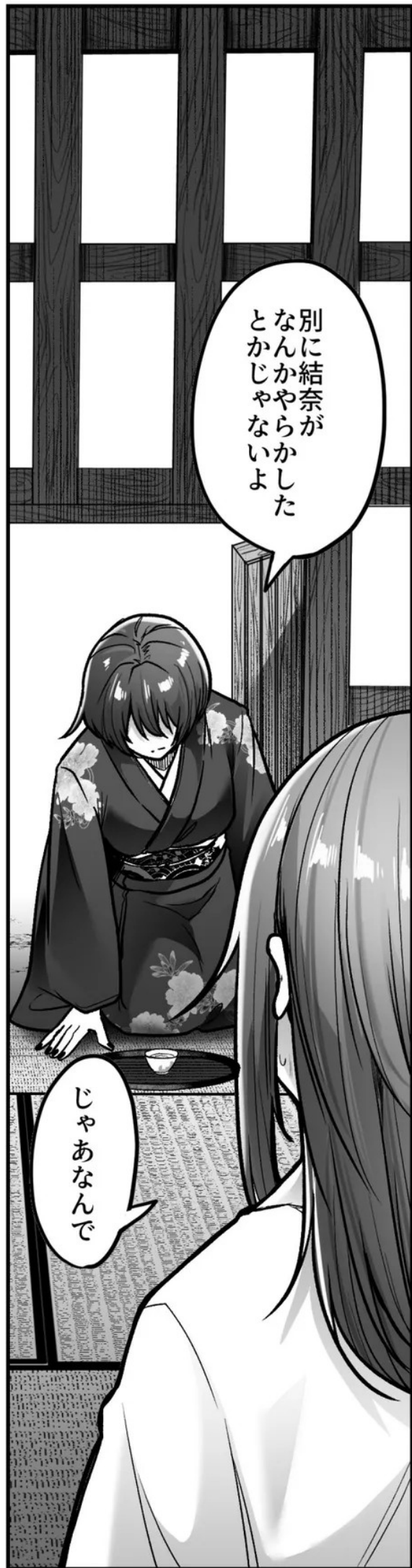
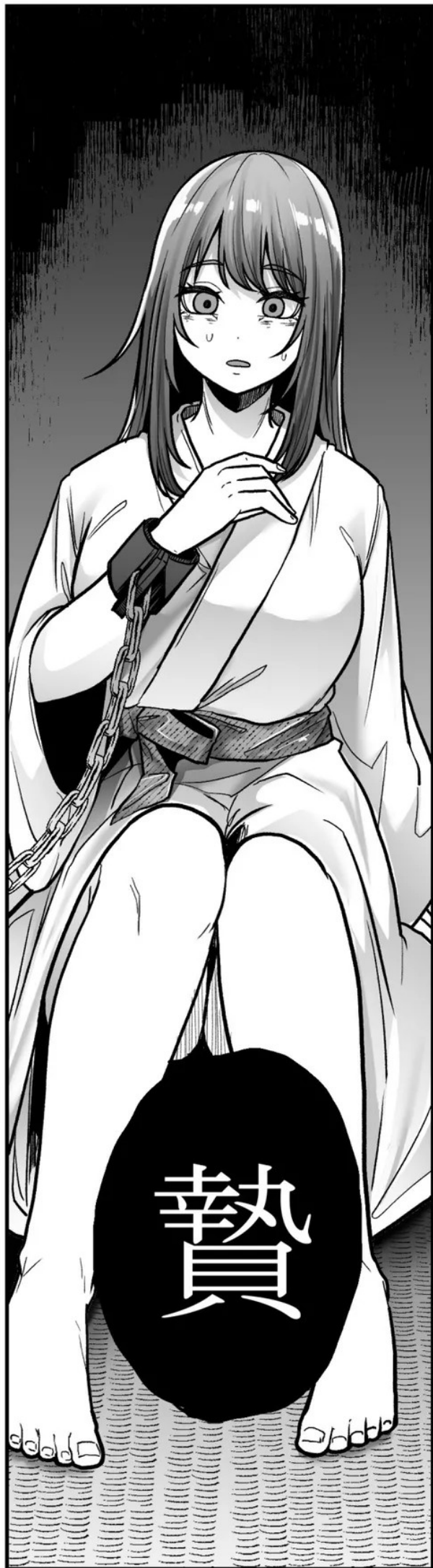
あとでお水とかも
持って行ってあげるから
ゆっくり休んでな

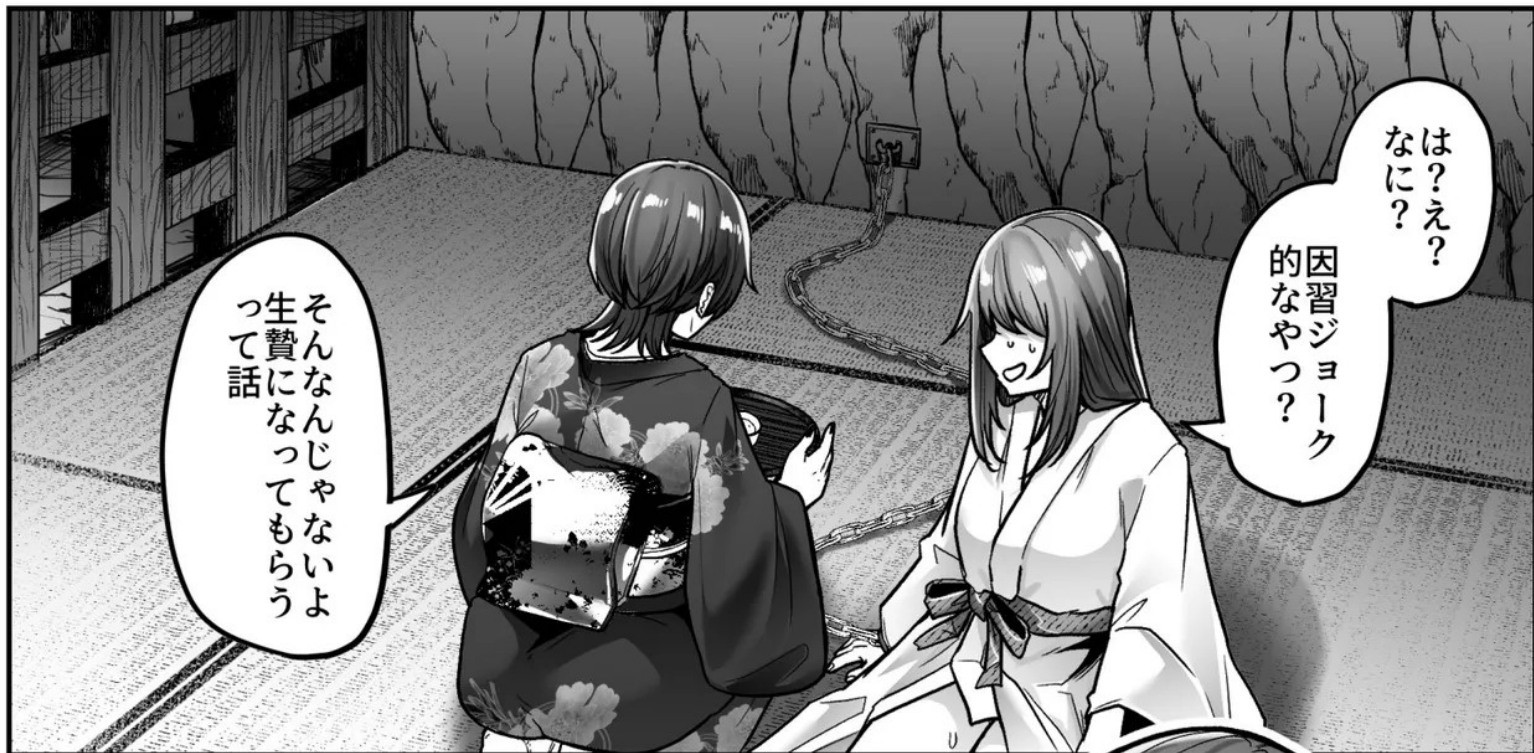
連れて行ってあげるから
もう少し寝てていいよ

…うん









は？え？
なに？

因習ジョーク
的なやつ？

そんなんじゃないよ
って話
生贄になってもらう



はい
お水

ウチの神様
そろそろ世代
交代なんだ

だから私帰ってきたし
贄にするために結奈を
連れてきたの

まあ誰でも
良かったんだけど
たまたま結奈が
一緒に来てくれただけ

あっ想像してる
生贄とは違うと思うよ
死んだりはそうそう
しないし

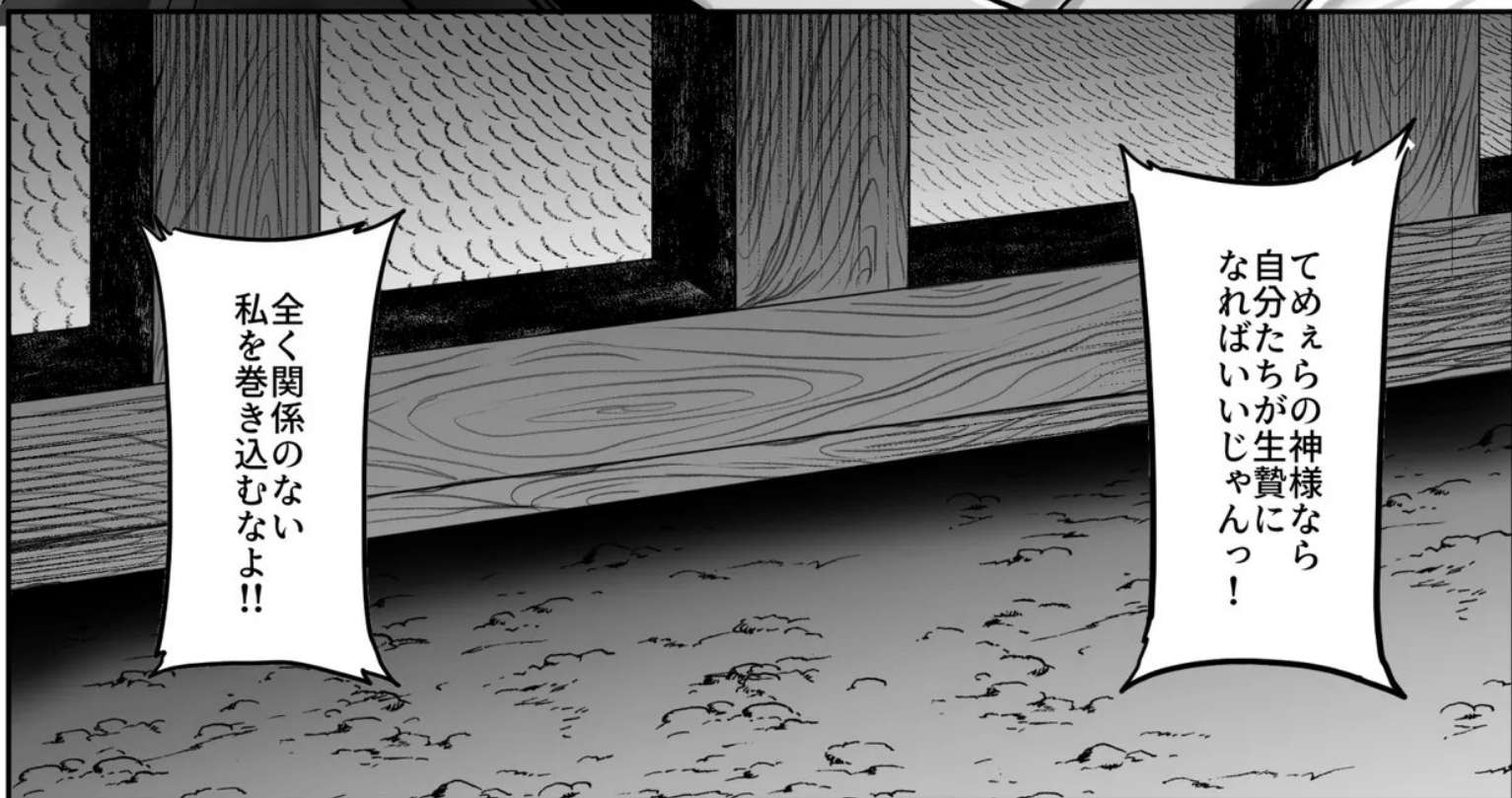
なにそれ



ふざけんなッ!!

なんで私が
紬達の都合で
生贄にされんだよ!

うわっ



てめえらの神様なら
自分たちが生贄に
なればいいじゃんっ!

全く関係のない
私を巻き込むなよ!!



うーん：昔はウチの中から
贅出してたらしいけど
食い殺されちゃうんだよね

たまたま他所の人を
贅にしたら無事でさ
なーんか相性かな？

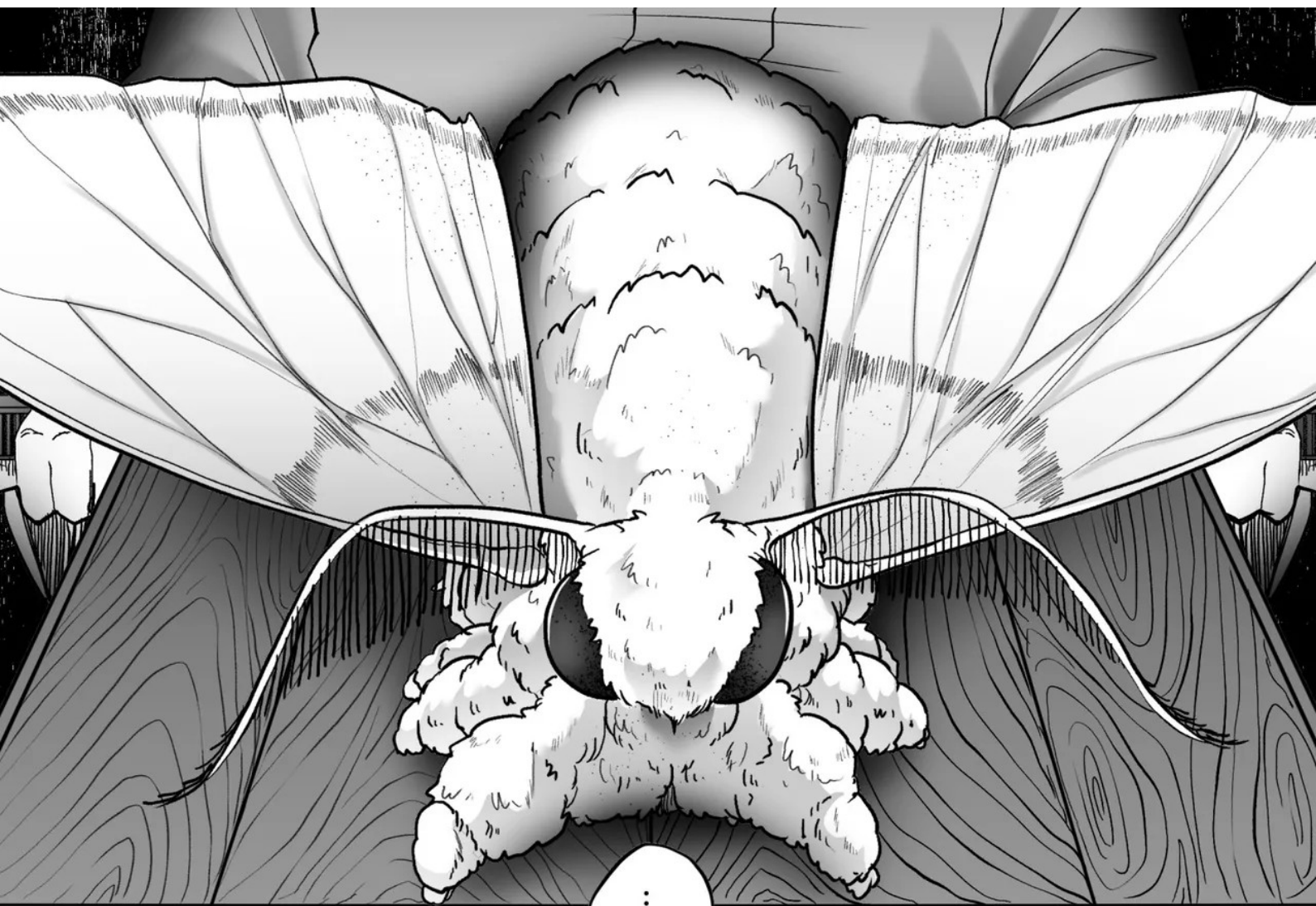
でどうせなら誰も
死なない方がよいね
ってことで他所から
連れてくるようになったの



結奈だってそうでしょ？
自分の家族が死ぬのと
私が苦しむのだつたら
私の方が気楽じゃない？
死にはしないんだから？

大丈夫だよ
ちゃんと役目終えるまで
ずっと私も隣にいて
支えてあげるから
寂しくないよ





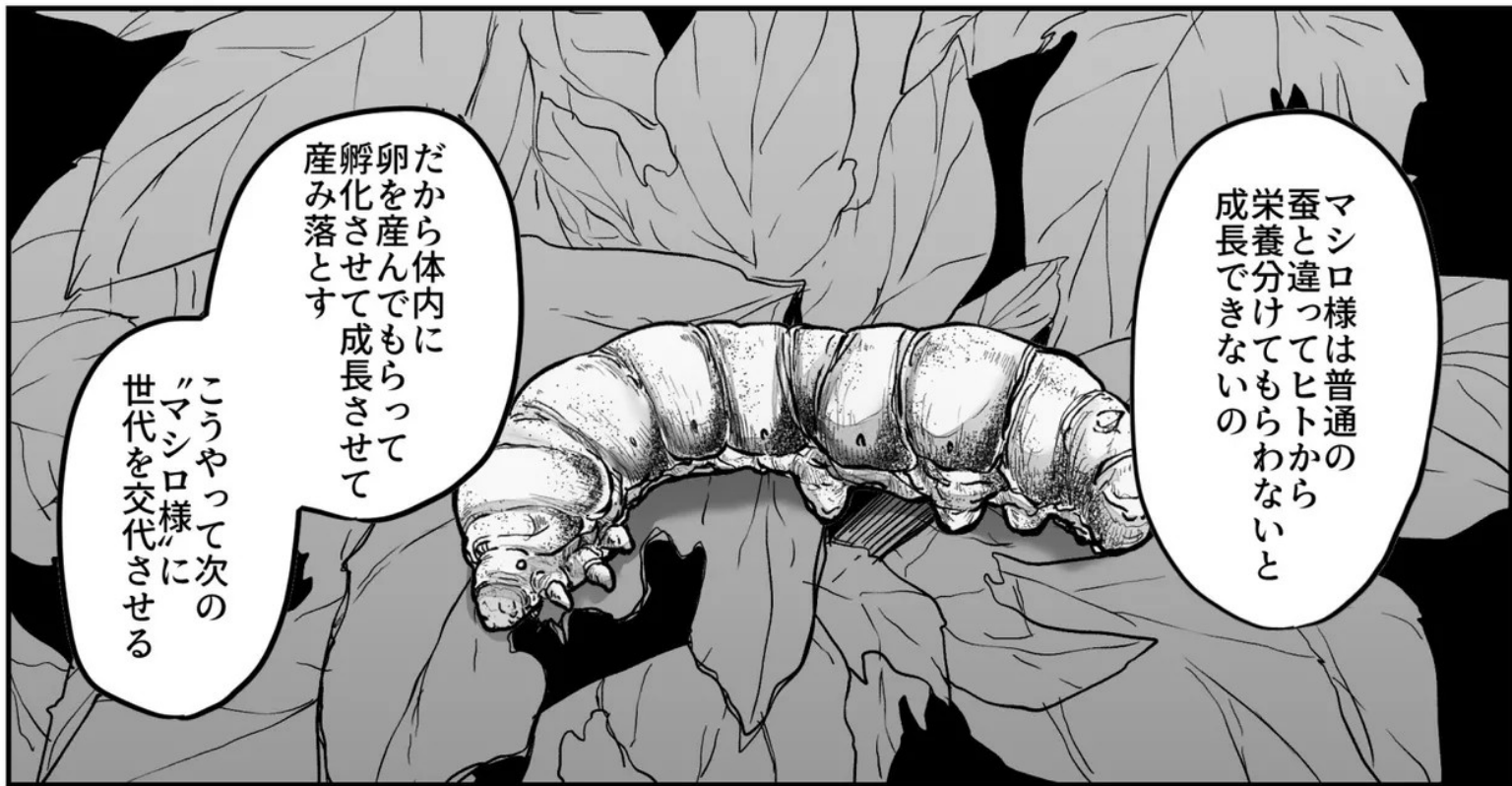
…虫っ!?

贅の役目はね
マシロ様の子供を
お腹の中で育てるの

へ?
何言って…

虫じゃないよ
“マシロ様”
真っ白で綺麗でしょ

ぐっ



マシロ様は普通の
蚕と違ってヒトから
栄養分けてもらわないと
成長できないの

だから体内に
卵を産んでもらって
孵化させて成長させて
産み落とす

こうやって次の
マシロ様に
世代を交代させる



ウチが養蚕業を
やっていた時代からの
しきたり

マシロ様のお陰で
私たちは栄えてきた
だからお願い
賛としてマシロ様の
子を孕んであげて

なび

なび

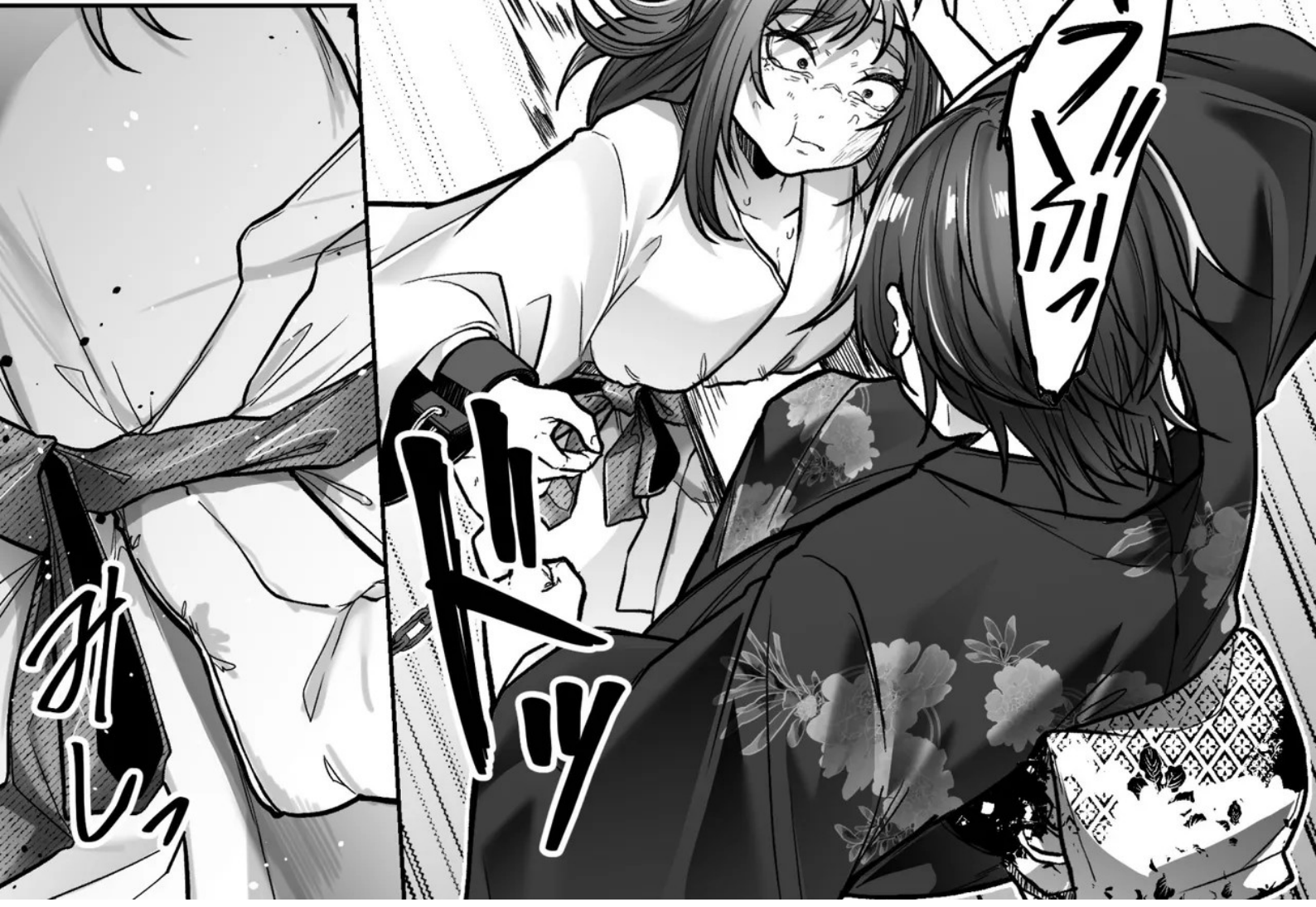


ふざけんなっ!
産むわけないでしょ!?

頭湧いてんじゃないのっ!!
何がマシロ様だ!虫だよ!!
誰がそんなキモい奴に
好き好んで犯されんだよ!!

……ちっ









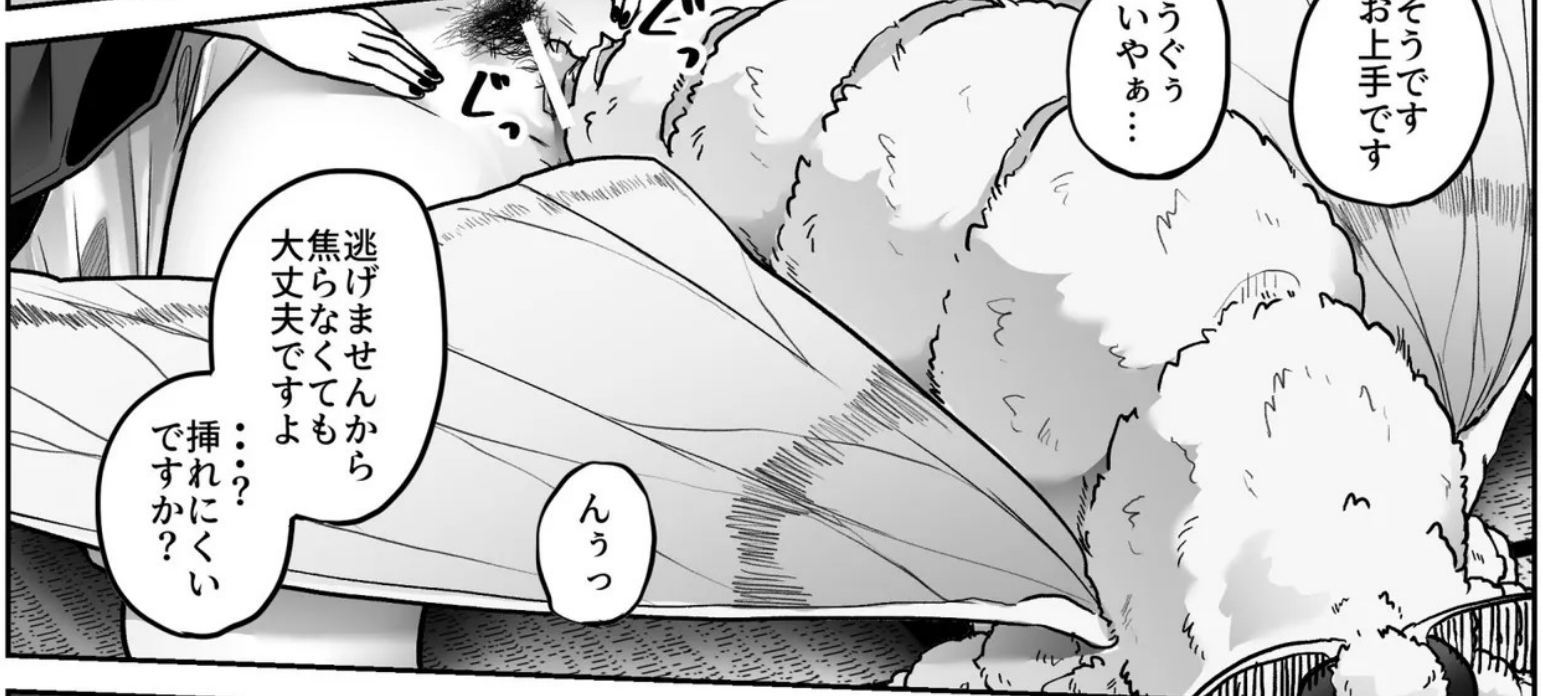
卵床の準備
整いました

大変お待たせ
いたしました
マシロ様

はあ

ここに
産み付けて
下さいませ

に



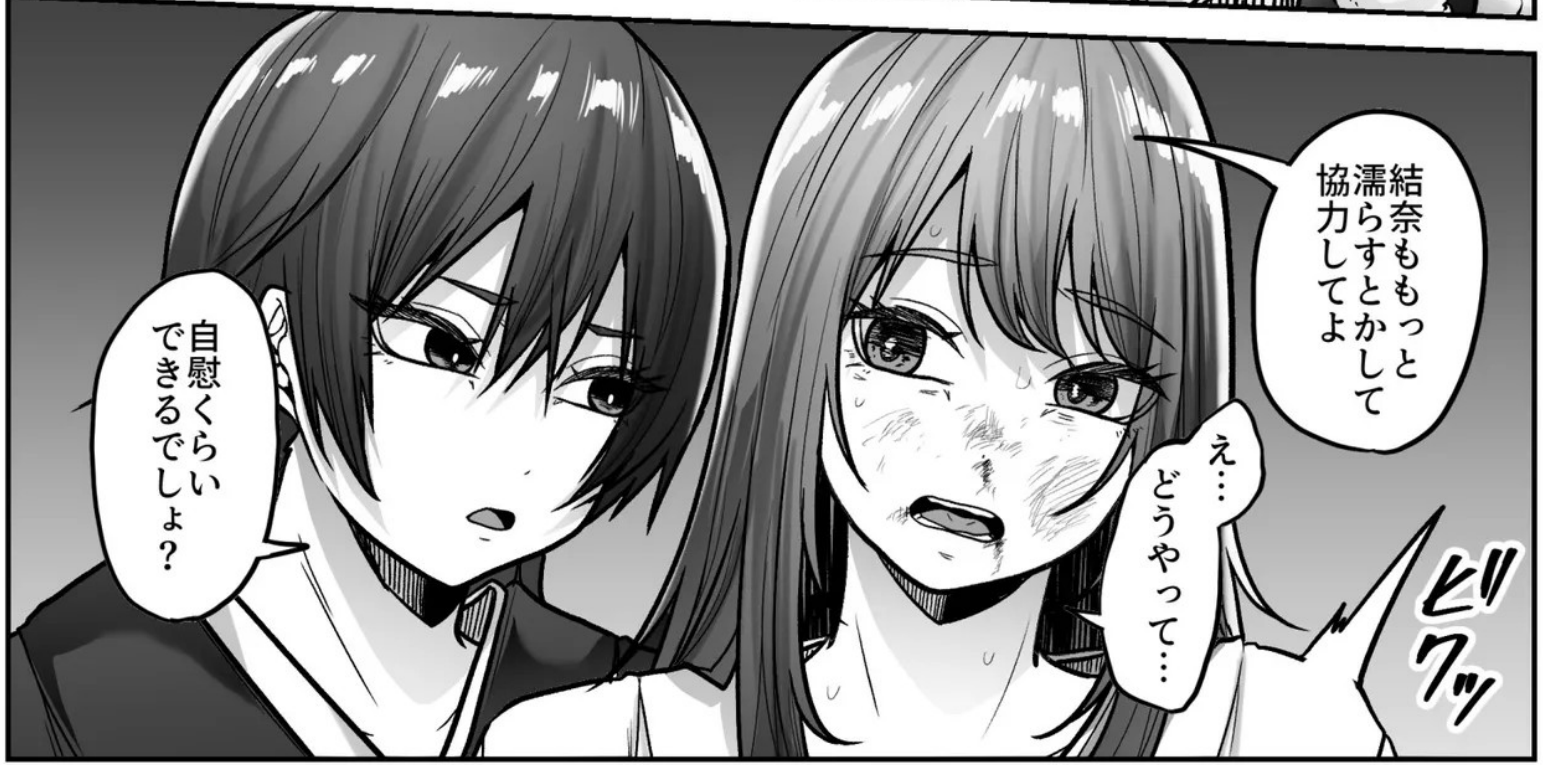
そうです
お上手です

うぐう
いやあ…

逃げませんから
焦らなくても
大丈夫ですよ

…?
挿れにくい
ですか?

んうっ



結奈ももっと
濡らすとかして
協力してよ

え…
どうやって…

自慰くらい
できるでしょ?



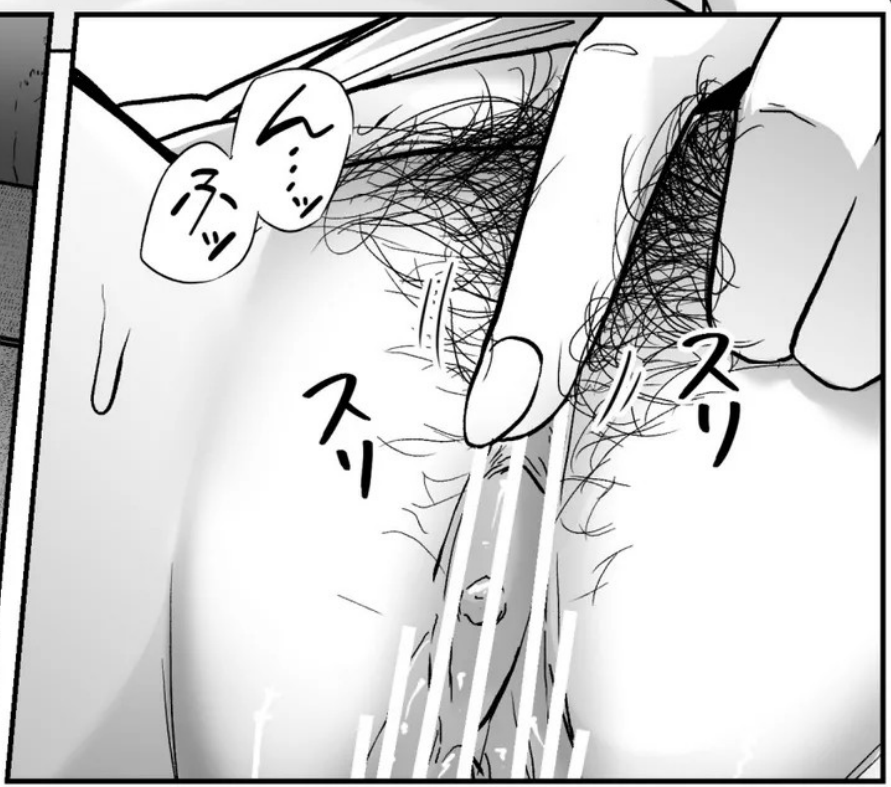
ほらっ早く
マシロ様が
困ってるでしよ

なんで…なんで
虫に犯されるために
オナニルじで
濡らさないといけないの…



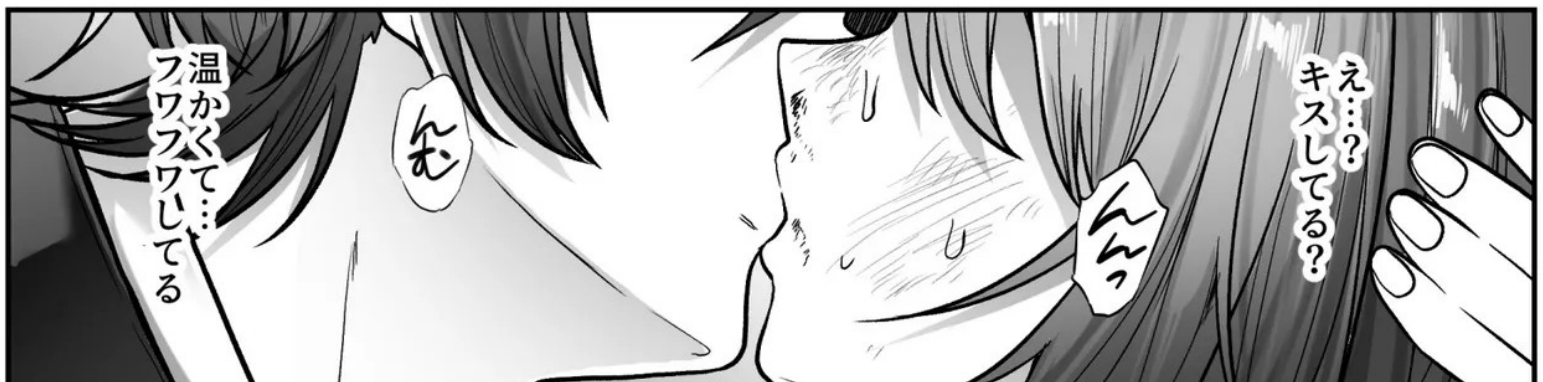
こんなの
気持ち乗るわけ…

だめ…



ん…
ズッ

スリ
スリ



あ…紬の指が
私のクリトリス弄ってる

意識が虫から
紬に移る
体反応じちゃう

ぴんぽん

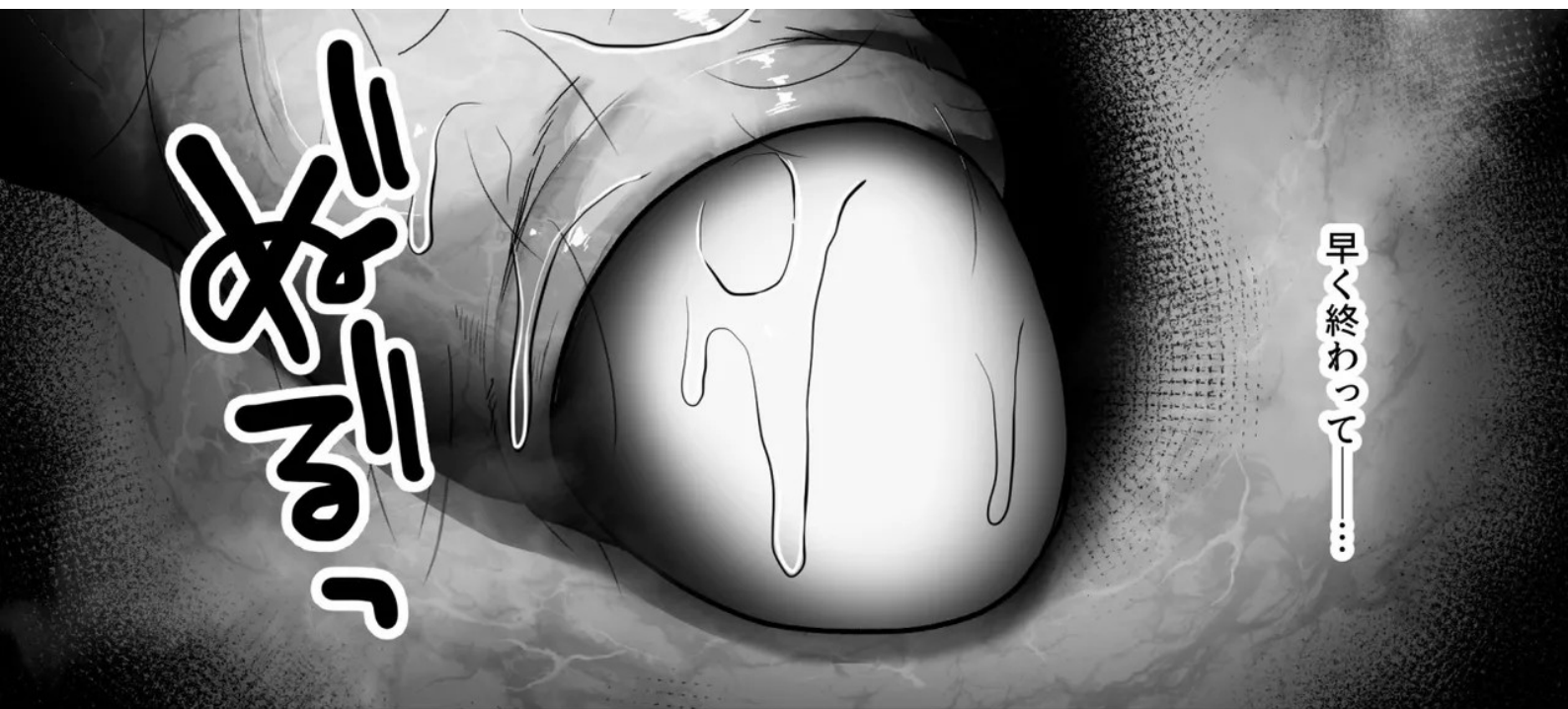
ぴんぽん

くっく
くっく









おる、

早く終わって…



ビクッ

私のお腹…
膨らんで…

ポッ

いびき

うん
無事に産卵
できたみたい







ようやく
産まれるね

大丈夫
隣にいるから

元気な
赤ちゃん
産んでね

うぐうう...っ
痛い...っ
お腹裂けちゃうっ

大丈夫だよ
ゆっくり呼吸して
力抜いて

ビクッ

ドクッ
ビクッ

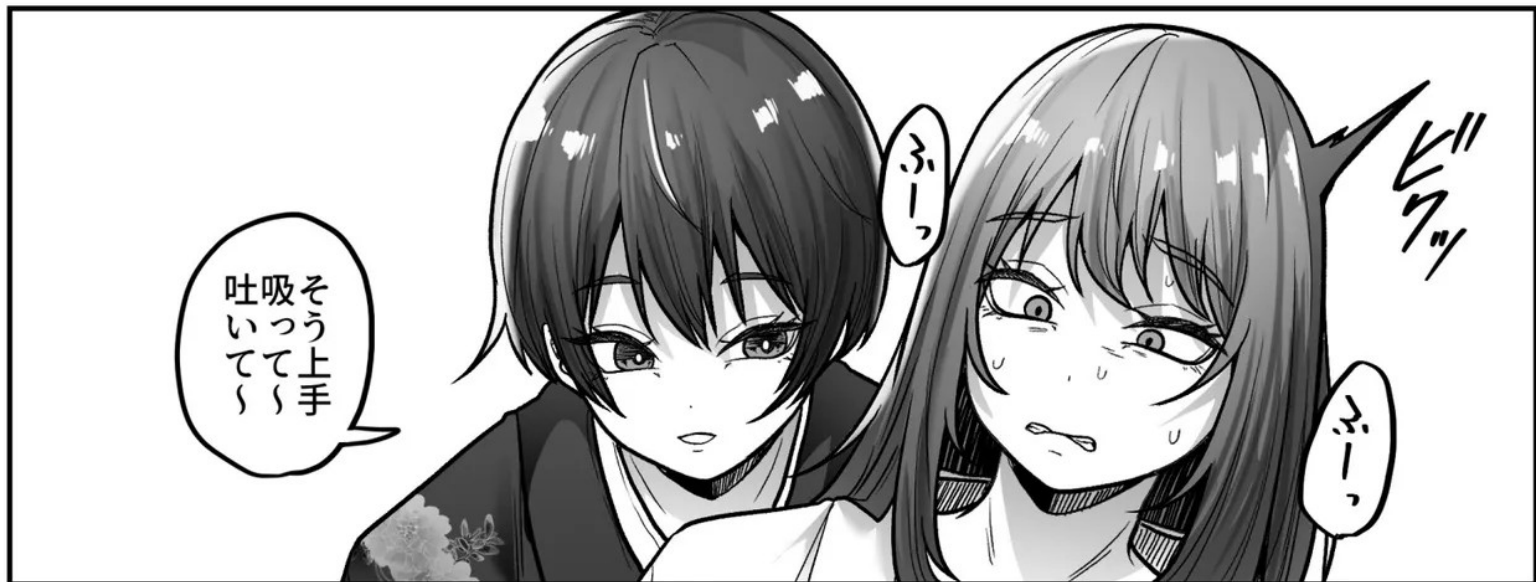
ドクッ

ママ

ママ

ママ



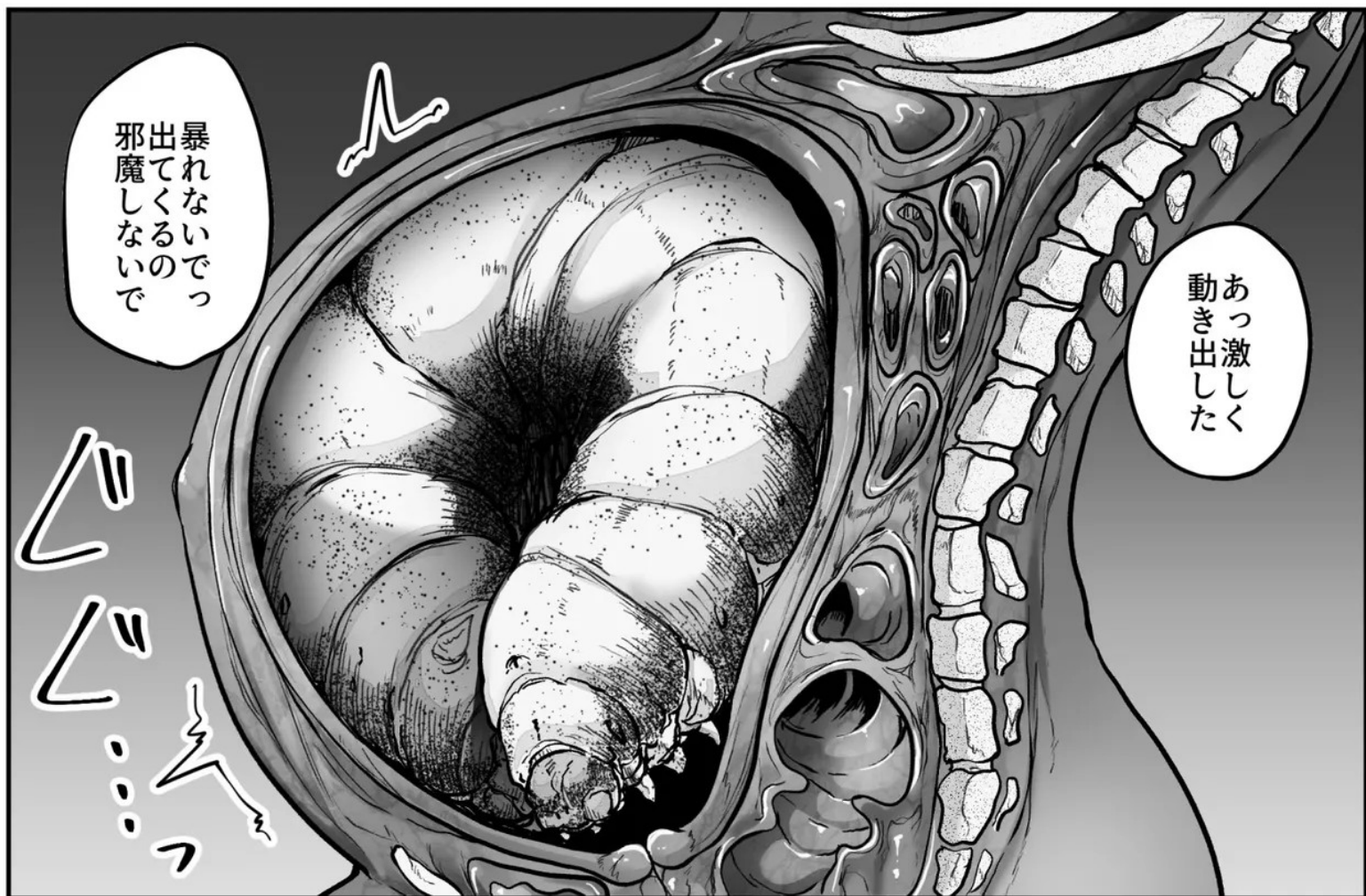


そう上手
吐いて

ふー

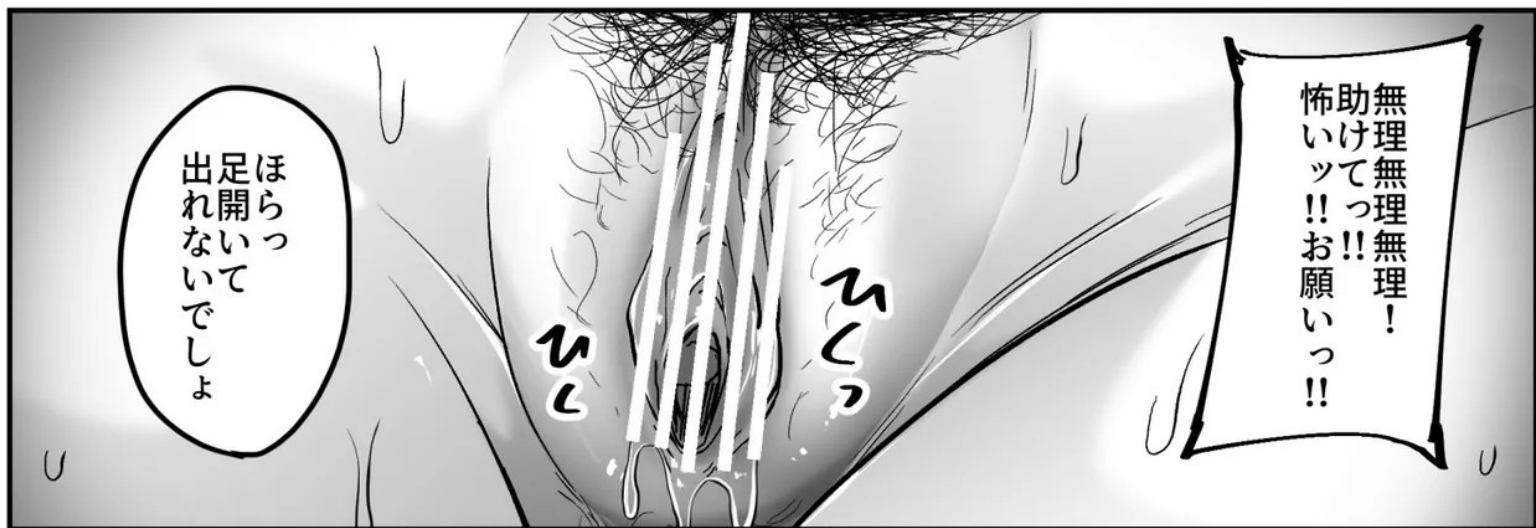
ふー

ケッ



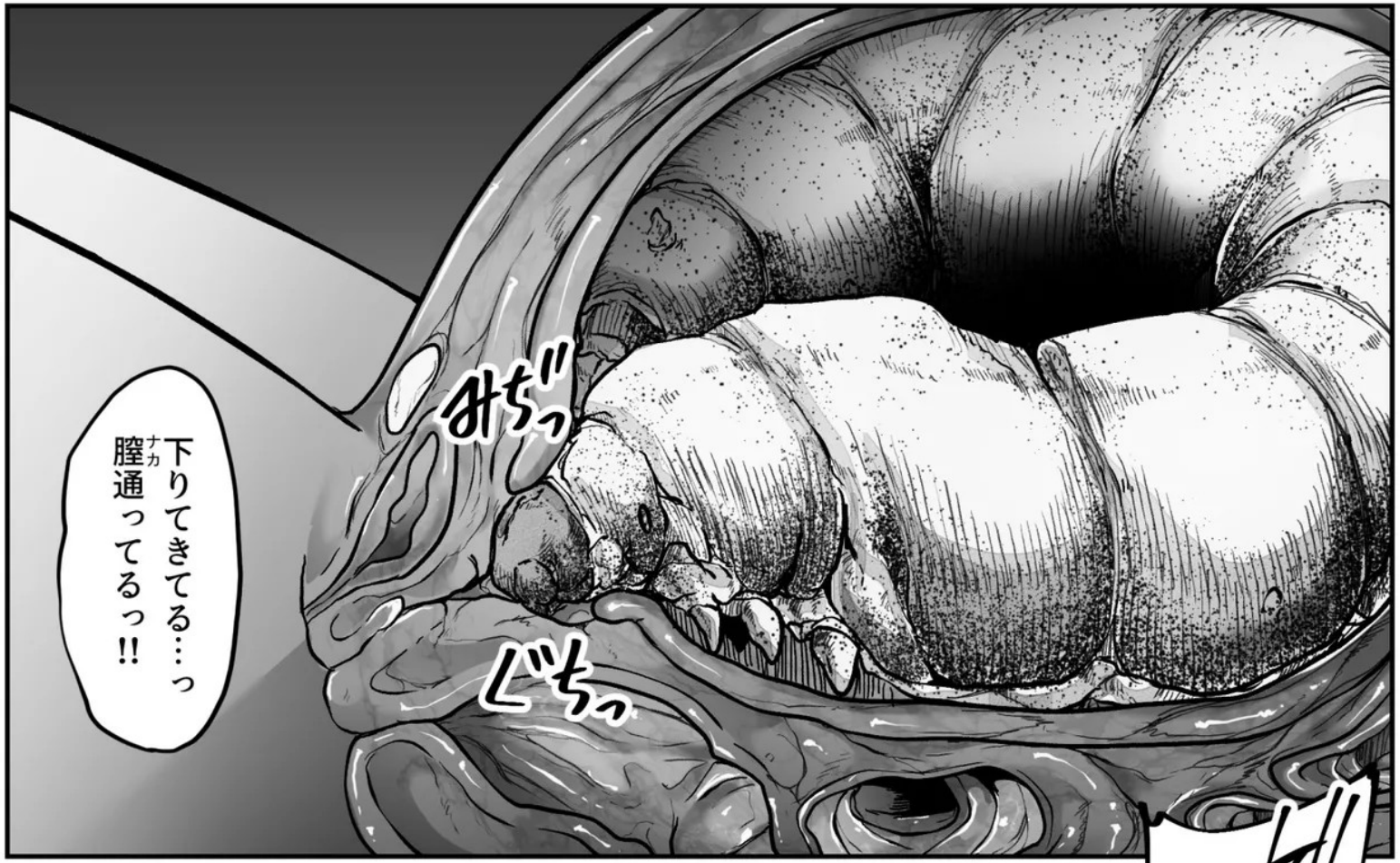
暴れないでっ
出てくるので
邪魔しないで

あつ激しく
動き出した



ほらっ
足開いて
出れないでしょ

無理無理無理！
助けっ！！
怖いッ！！お願いっ！！



下りてきてる…っ
ナカ
膣通ってるっ!!



出たが
つて
るん
だか
ら
早く
出
して
あげ
てよ
っ!!
可哀
そう
でし
よ!!

出
す
ッ!!
出
す
か
ら
押
さ
な
ッ!!

お
し
ッ

痛いっ！キツイっ！
出産ってこんなに
苦しいのっ！？

ガッ
ガッ

ビクッ

フーッ

フーッ

ア

はっ
りっ
ッ

なんで…っ
なんで私がっ
こんな思いして
産まないとなのっ

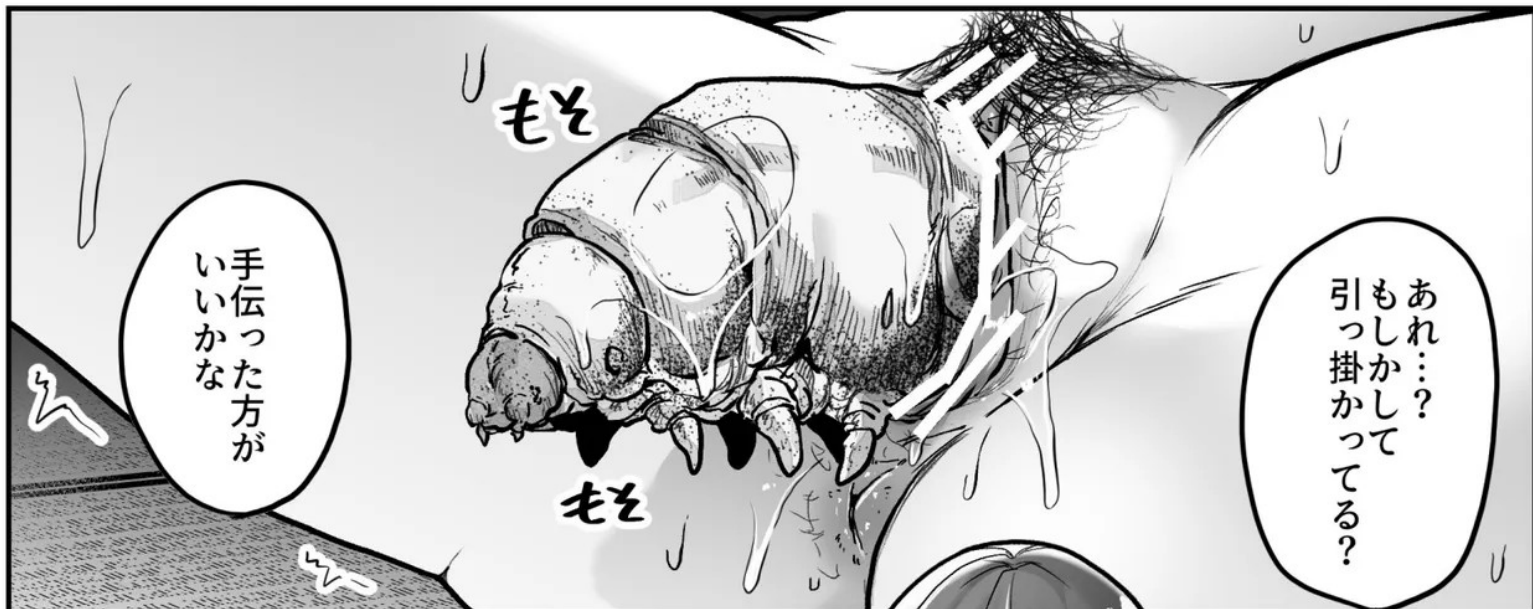
あっ頭出てきたっ
マシ口様っ
あと少しです
頑張ってください！

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



あれ…？
もしかして
引っ掛かってる？

手伝った方が
いいかな



マシロ様：
失礼します

ねえっ！！
なにをするのって！！

自分で産むか…

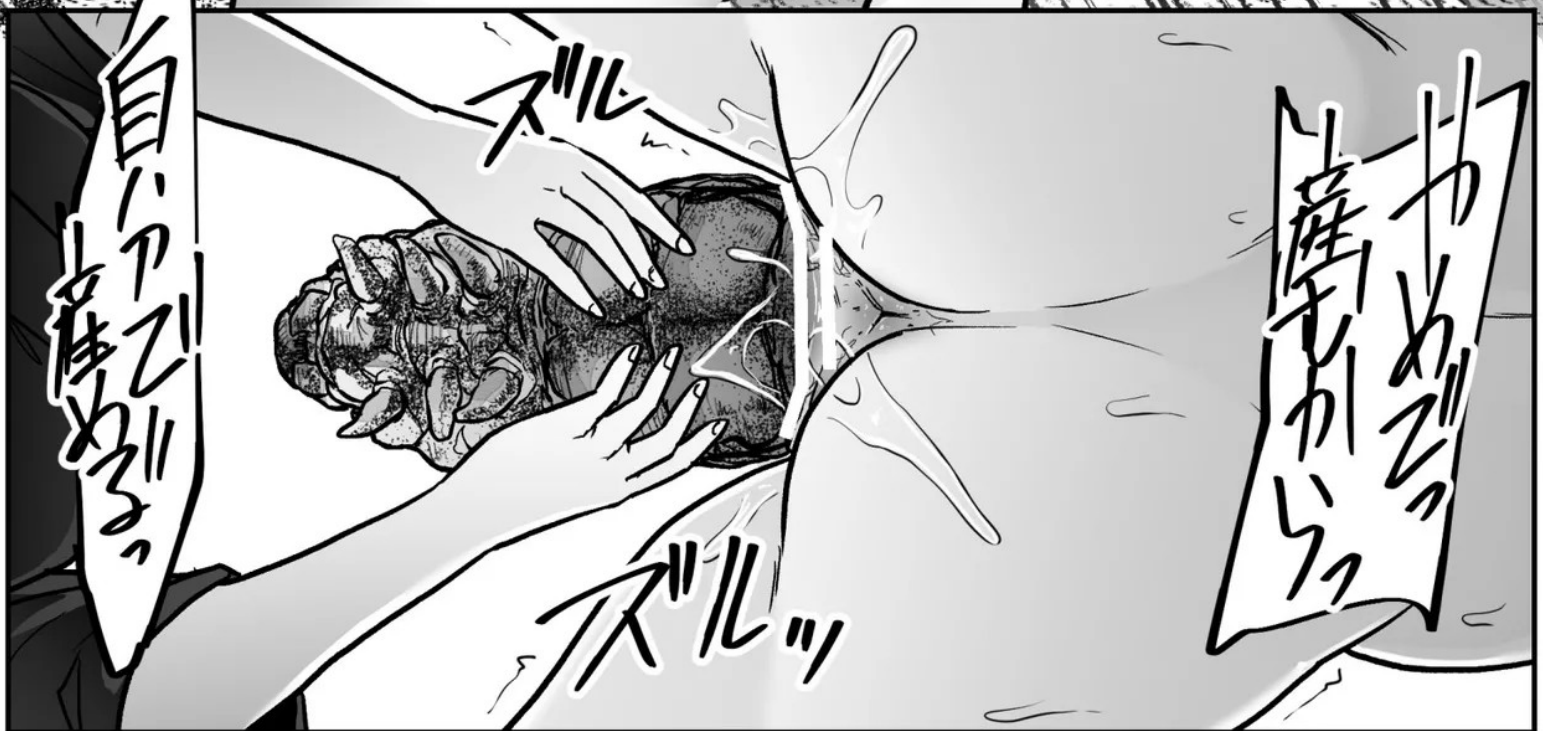


結奈は力抜いて
大人しくしてて

暴れたりして
マシロ様傷つけたら
許さないから

は…？え？
なにをするつもり？

かばっ





その調子ですっ
もうすぐ出られますよ

苦しいですよね
すぐに出して
あげますから



産まれた…?!
内蔵出てないよね？

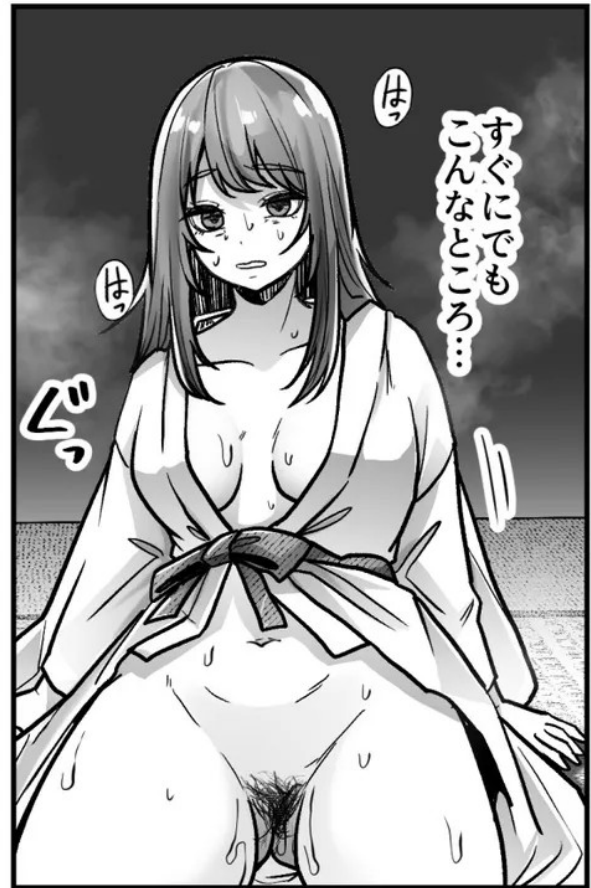
でも…
これで終わる
家に帰れる…



ご誕生
おめでとう
ございます

頑張りましたね
すぐにお部屋に
お連れしますね

え...?
待ってよ



は
すぐにでも
こんなところ...

は

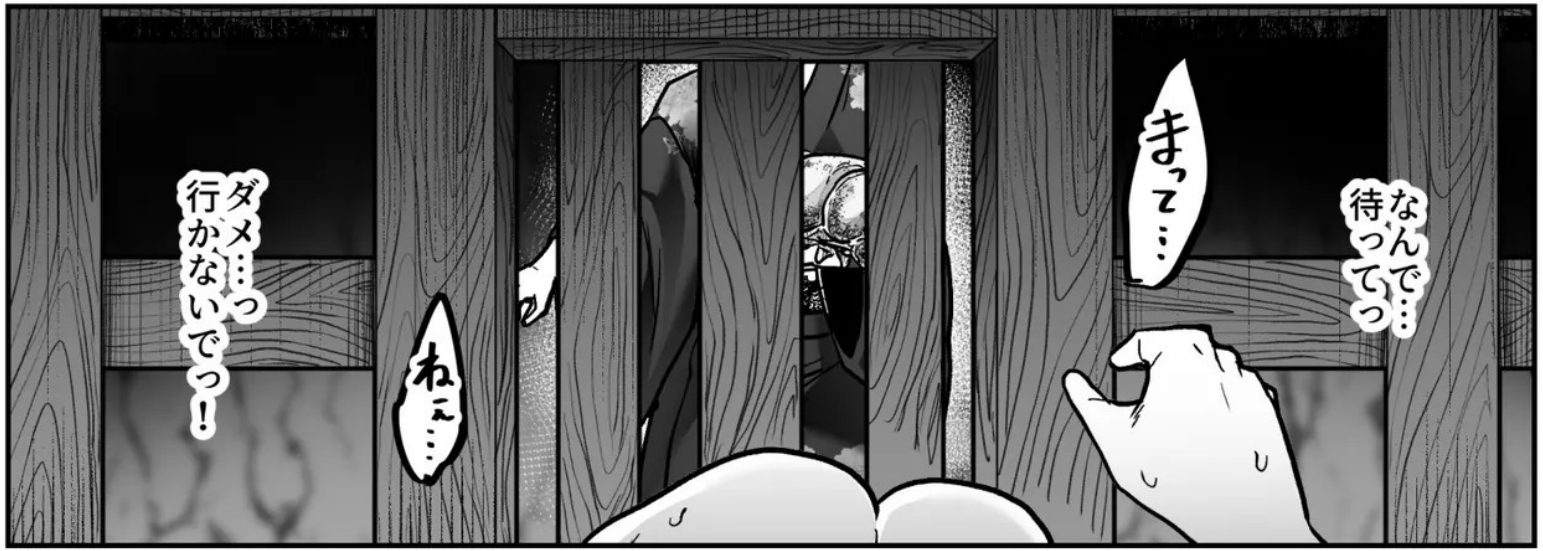
ぐ



ふふっ
お腹空きました?
食事も準備
してますよ

なんで...?
頑張っ...耐えて
産んだの私じゃん

無視しないでよ
家に帰してくれる
約束だったじゃんっ

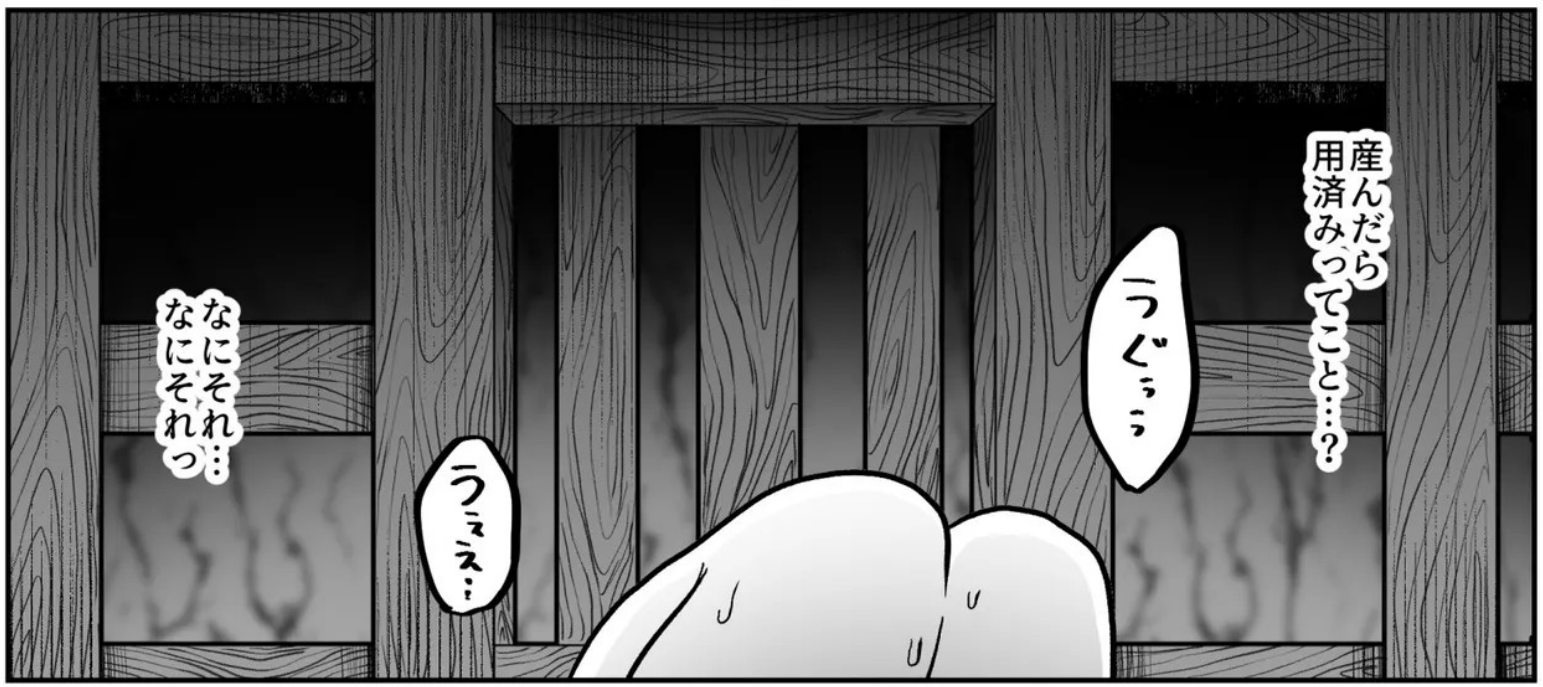


ダメ…っ
行かないでっ!

ね…

まって…

なんで…
待ってっ

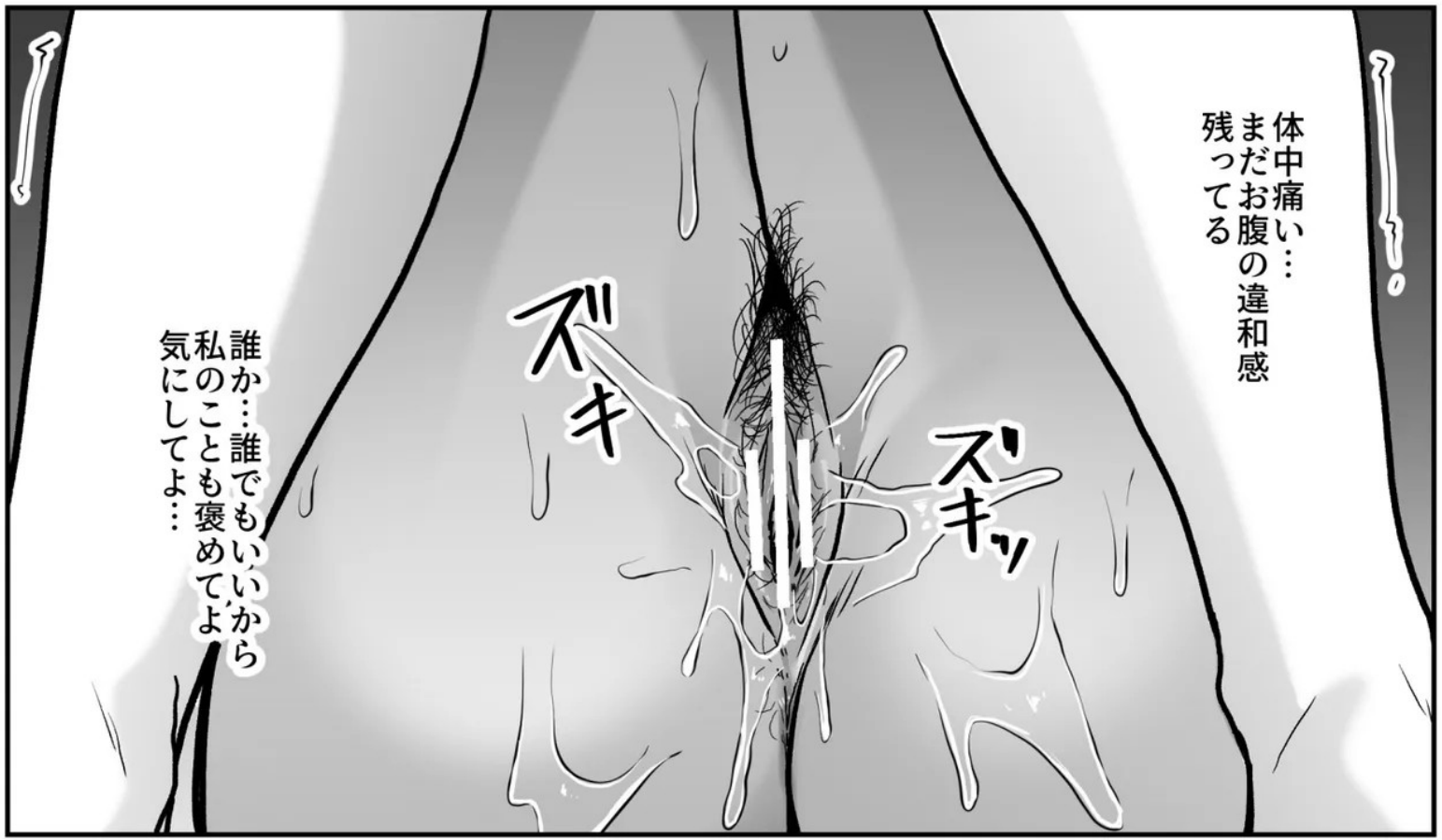


なにそれ…
なにそれ…
なにそれ…

う…え…

うぐ…う

産んだら
用済みってこと…?



体中痛い…
まだお腹の違和感
残ってる

誰か…誰でもいいから
私のことも褒めてよ…
気にしてよ…

ズキ

ズキッ



ああああ

うゑゑゑ

ああ…酷いことされたけど
優しくもされて勘違いしてた…

私へ優しさじゃ無かった
声掛けも…ご飯も清拭も全部
あの虫の為だったんだ…

全部嘘じゃん…
全部…全部っ
会話も約束も
…友達だったのも

あとがき

天乃です～

この度は本作をご購読頂き
誠にありがとうございます

なんか年を重ねるごとに
季節の移り変わりに身体が
ついていかなくなってる気がします
純粹に漫画ばかり描いて
引き籠ってるからですかね？

建物の描写がなーんか
上手く描けないんですよ
他にもまだまだ実力不足を感じる
箇所が沢山あるので
今後も勉強頑張りながら作品描きますわ～
お母さんとかは方言にしたかったんですけど
詳しくない地域なのでほぼ標準語ですね
この辺も知識つけたいですね

次作もお楽しみに！

pixiv: <https://www.pixiv.net/users/41800036>

twitter: @amano_teru1019